

まちだ未来づくりビジョン2040 町田市 5 カ年計画 22-26 2024 年度の取り組み結果

— 資料編 —



2025 年 8 月
町田市

重点事業プラン 目次

政策1 赤ちゃんに選ばれるまちになる		
施策1-1 魅力ある子育て環境をつくる		
重点事業		ページ
1	地域における子育て支援の充実	7
2	「食」を通じた地域ネットワーク支援の構築	8
3	ひとり親家庭の支援	9
施策1-2 多様な保育サービスを提供する		
1	送迎保育による多様な保育サービスの推進	10
2	病児・病後児保育の充実	11
3	保育の質の向上推進	12
4	教育・保育施設の整備	13
政策2 未来を生きる力を育み合うまちになる		
施策2-1 子どもが自分らしく育つ場を提供する		
1	子どもの参画の推進	15
2	子どもクラブの整備	16
3	学童保育クラブの整備	17
施策2-2 学ぶ意欲を育てる		
1	えいごのまちだの推進	18
2	ICT教育の充実	19
3	地域のスポーツ環境の充実	20
4	キャリア教育の推進	21
施策2-3 教育環境を充実させる		
1	新たな学校づくりの推進	22
2	中学校給食センターの整備	23
3	小学校施設の整備	24
4	中学校施設の整備	25
5	特別支援学級の充実	26
施策2-4 地域の教育力を高める		
1	学校と地域の協働	27
政策3 自分らしい場所・時間を持てるまちになる		
施策3-1 ビジネスしやすく、働きやすい環境をつくる		
1	起業・創業の魅力を発信	29
2	事業者の新分野・新技術への進出支援	30
3	事業者の次代を担う人材を育成	31
4	円滑な事業承継の推進	32
5	働きやすいまちづくりの推進	33
施策3-2 町田ならではの地域資源をいかす		
1	シティプロモーションの推進	34
2	シティセールスの推進	35
3	町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上の推進	36
4	香山緑地の整備	37
5	身近に農のあるまちづくり	38
6	里山環境の活用と保全	39

政策4 いくつになっても自分の楽しみが持てるまちになる		
施策4-1 生涯にわたる学習の「しやすい」を支援する		
1	ワタシが主役の図書館づくりの推進	41
2	新たな図書館様式の推進	42
3	新たな学びの支援	43
施策4-2 スポーツへの参加機会を充実させる		
1	地域のスポーツ環境の充実(2-2③再掲)	44
2	野津田公園スポーツの森の整備	45
3	スポーツをする場の環境整備	46
4	忠生スポーツ公園の整備	47
5	ホームタウンチーム等との連携の推進	48
政策5 人生の豊かさを実感できるまちになる		
施策5-1 高齢者が地域でいきいきと暮らせる環境をつくる		
重点事業		ページ
1	地域介護予防活動支援	50
施策5-2 高齢者を地域で支える体制をつくる		
1	認知症の人やその家族の居場所づくり	51
2	介護人材の確保・育成・定着	52
政策6 つながりを力にするまちになる		
施策6-1 つながり、支え合える基盤をつくる		
1	地域活動団体支援	54
2	ワタシが主役の図書館づくりの推進(4-1①再掲)	55
3	地域における福祉の困りごと相談支援体制の強化	56
施策6-2 みんなで将来に受け継ぐ持続可能な環境をつくる		
1	地球温暖化対策の推進	57
2	資源循環型施設の整備	58
3	プラスチックごみの減量の推進	59
政策7 ありのまま自分を表現できるまちになる		
施策7-1 一人ひとりの個性を大切に地域をつくる		
1	性の多様性への理解の促進	61
2	障がい者差別解消推進	62
3	成年後見制度の利用支援	63
施策7-2 文化芸術に親しめる環境・機会を充実させる		
1	芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアムの整備	64
政策8 思わず出歩きたくなるまちになる		
施策8-1 気軽に外へ出てつながれる環境をつくる		
1	小さな交通・地域で支える交通環境の整備	66
2	大きな・速い交通の整備	67
3	自転車利用環境の整備	68
4	都市計画道路の整備	69
5	準幹線道路の整備	70
6	鶴川駅周辺のまちづくりの推進	71
7	相原駅周辺のまちづくりの推進	72

政策8 思わず出歩きたくなるまちになる		
施策8-2 ライフスタイルに合わせて自分らしくまちを使えるようにする		
1	団地再生の推進	73
2	忠生・北部丘陵地区のまちづくりの推進	74
3	木曽山崎地区のまちづくりの推進	75
4	町田駅周辺地区のまちづくりの推進	76
5	中心市街地の賑わい空間の創出	77
施策8-3 健やかで心地よい時間を過ごせる環境をつくる		
1	「芹ヶ谷公園」芸術の杜”パークミュージアムの整備(7-2①再掲)	78
2	町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上の推進(3-2③再掲)	79
3	野津田公園スポーツの森の整備(4-2②再掲)	80
4	香山緑地の整備(3-2④再掲)	81
5	(仮称)蓮田公園の整備	82
6	忠生スポーツ公園の整備(4-2④再掲)	83
7	(仮称)大戸広場の整備	84
8	都市農地の保全活用の取組	85
政策9 みんなが安心できる強いまちになる		
施策9-1 ひと・まちを災害に強くする		
	重点事業	ページ
1	自主防災リーダーの育成	87
2	避難行動要支援者の避難支援体制整備	88
3	地震対策(雨水管の耐震化)	89
4	地震対策(下水道処理施設の耐震化)	90
5	浸水対策の推進	91
6	無電柱化の推進	92
7	住宅の耐震化の促進	93
8	緊急輸送道路沿道の建築物の耐震化の促進	94
施策9-2 地域の安全を守る		
1	協働パトロールの充実	95
2	交通安全ミーティングの推進	96
3	踏切道の改良	97
4	道路安全設備の緊急更新	98
5	自転車利用環境の整備(8-1③再掲)	99
施策9-3 市民の健康を守る		
1	心と体の健康の推進	100

※参考資料1 重点事業プランの達成率一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・101

参考資料2 重点事業プランの取り組み結果一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・102

【重点事業名】

施策を具体化する事業のうち、重点的に取り組む事業の名称を記載

<重点事業プランのページ構成>

【事業概要】

事業の概要を記載

政策	1 赤ちゃんに選ばれるまちになる			施策	1-1 魅力ある子育て環境をつくる			
重点事業名	① 地域における子育て支援の充実			所管部	保健所／子ども生活部			
事業概要	●妊娠届出をした全ての妊婦さんが安心して出産を迎え、楽しく育児ができるように、妊娠期から保健師等の専門職が関わり、子育て期まで切れ目なく支援します。 ●就学以降も切れ目のない子育て支援を行うため、地域子育て相談センターでの相談対象年齢を18歳まで拡充します。 ●在宅で育児をしている家庭に対して、子育てについての相談や情報提供などを行うため、身近な保育園の「マイ保育園」登録を推進します。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	産後ケア利用申請数	380件	目標値	399件	418件	438件	459件	481件
			実績値	707件	993件			
			達成度	○	○			
備考								
2	産後ケア利用申請数	12,252件 (2020年度)	目標値	17,500件	18,000件	18,500件	19,000件	19,500件
			実績値	15,547件	14,895件			
			達成度	△	△			
備考								
3	マイ保育園累計実施園数	70園	目標値	71園 (1園/年)	72園 (1園/年)	73園 (1園/年)	73園 (-)	73園 (-)
			実績値	72園 (2園/年)	73園 (1園/年)			
			達成度	○	○			
備考								

【現状値】

現状を示す数値や状況を記載
(年度の記載が無い場合は 2021 年度)

【目標値】

年度ごとに達成すべき数値や状況を記載

【実績値】

当該年度の実績を示す数値や状況を記載

【達成度】

実績値に応じて「○・△」の2段階で達成度を表示

○…目標値を上回った場合（目標値に対して 100% 以上の実績値を達成した場合）

△…目標値を下回った場合（目標値の 100% 未満の実績値の場合）

* 2024 年度時点で事業未実施及び、事業実施しているが目標指標を設定していないもの（現状維持で現状値から変化のないものを含む）については、「-（ハイフン）」としています。

胎児期・幼年期
(0～5歳)

少年期
(6～18歳)

青壮年期
(19～44歳)

中年期
(45～64歳)

高齢期
(65歳～)

＼ 政策 ＼

1

赤ちゃんに選ばれる
まちになる



政策	1 赤ちゃんに選ばれるまちになる			施策	1-1 魅力ある子育て環境をつくる			
重点事業名	① 地域における子育て支援の充実			所管部	保健所／子ども生活部			
事業概要	●妊娠届出をした全ての妊婦さんが安心して出産を迎え、楽しく育児ができるように、妊娠期から保健師等の専門職が関わり、子育て期まで切れ目なく支援します。 ●就学以降も切れ目のない子育て支援を行うため、地域子育て相談センターでの相談対象年齢を18歳まで拡充します。 ●在宅で育児をしている家庭に対して、子育てについての相談や情報提供などを行うため、身近な保育園の「マイ保育園」登録を推進します。							
	指標	現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	産後ケア利用 申請数	380件	目標値	399件	418件	438件	459件	481件
			実績値	707件	993件	1,201件		
			達成度	○	○	○		
	備考							
2	地域子育て相 談センターの 相談件数	12,252件 (2020年度)	目標値	17,500件	18,000件	18,500件	18,600件	18,700件
			実績値	15,547件	14,895件	12,863件		
			達成度	△	△	△		
	備考							
3	マイ保育園累 計実施園数	70園	目標値	71園 (1園/年)	72園 (1園/年)	73園 (1園/年)	73園 (-)	73園 (-)
			実績値	72園 (2園/年)	73園 (1園/年)	73園 (-)		
			達成度	○	○	○		
	備考							

政策	1 赤ちゃんに選ばれるまちになる			施策	1-1 魅力ある子育て環境をつくる			
重点事業名	②「食」を通じた地域ネットワーク支援の構築			所管部	子ども生活部			
事業概要	●経済的に困難を抱えたひとり親家庭の親子を支援するため、地域ボランティアの協力を得て弁当を調理し、自宅に配達します。併せて、配達時には地域情報や行政情報を提供します。 ●子ども食堂やフードバンクまちだとの連携を進め、ネットワークを構築します。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	配達食数	201食	目標値	240食	280食	320食	360食	400食
			実績値	249食	300食	342食		
			達成度	○	○	○		
	備考							

政策	1 赤ちゃんに選ばれるまちになる			施策	1－1 魅力ある子育て環境をつくる			
重点事業名	③ ひとり親家庭の支援			所管部	子ども生活部			
事業概要	●ひとり親家庭の親及びその20歳未満の子どもの高等学校卒業程度認定試験に係る受講費用の一部を支給します。 ●ひとり親家庭の親が養育費を確保できるよう、「養育費保証契約の際の初回保証料」や「公正証書等の作成に係る経費」、「調停や裁判に要する戸籍抄本等の取得費用」を支給します。また、弁護士による法律相談に応じます。							
	指標	現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	高卒認定試験 合格支援申請 相談者数	—	目標値	5件	10件 (5件/年)	15件 (5件/年)	20件 (5件/年)	25件 (5件/年)
			実績値	5件	10件 (5件/年)	19件 (9件/年)		
			達成度	○	○	○		
	備考							
2	養育費確保支 援申請者数	—	目標値	—	15件	30件 (15件/年)	45件 (15件/年)	60件 (15件/年)
			実績値	—	51件	97件 (46件/年)		
			達成度	—	○	○		
	備考							

政策	1 赤ちゃんに選ばれるまちになる			施策	1ー2 多様な保育サービスを提供する			
重点事業名	① 送迎保育による多様な保育サービスの推進			所管部	子ども生活部			
事業概要	●地域における保育サービスの需給バランスを調整し、待機児童の解消と利用者の利便性向上を図るため、送迎保育ステーションを拠点として、比較的待機児童の多い地域から定員に余裕のある地域の保育所等に児童を送迎します。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	送迎保育 ステーション 利用定員数	8,000人	目標値	8,000人	8,000人	8,000人	8,000人	8,000人
			実績値	9,374人	8,938人	8,979人		
			達成度	○	○	○		
	備考							

政策	1 赤ちゃんに選ばれるまちになる			施策	1ー2 多様な保育サービスを提供する			
重点事業名	② 病児・病後児保育の充実			所管部	子ども生活部			
事業概要	●子育てと就労の両立を図るため、病氣中または病氣の回復期にある児童を保育する病児・病後児保育を実施するとともに、病児保育施設を整備します。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	病児・病後児 保育施設 累計数	6施設	目標値	7施設 (1施設/年)	7施設 (一)	8施設 (1施設/年)	8施設 (一)	9施設 (一)
			実績値	7施設 (1施設/年)	7施設 (一)	7施設 (一)		
			達成度	○	一	△		
	備考							

政策	1 赤ちゃんに選ばれるまちになる			施策	1ー2 多様な保育サービスを提供する			
重点事業名	③ 保育の質の向上推進			所管部	子ども生活部			
事業概要	●保育の質の確保及び向上を図るため、保育コンシェルジュの体制を強化し、認可外を含む市内の教育・保育施設を定期的に訪問し、助言等を行います。 ●保育士等を確保するため、保育士養成校等や保育園協会及びハローワークと連携します。また、保育現場の負担軽減を図るため、各施設の職員が悩みなどを相談する窓口を新たに設け、保育コンシェルジュや保育士サポートロイヤーが助言等を行います。							
	指標	現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	保育サービス利用者・提供者の満足度	—	目標値	80%	85%	85%	90%	90%
			実績値	100%	100%	100%		
			達成度	○	○	○		
	備考							
2	保育士養成校等との連携回数	2回	目標値	14回	20回	21回	22回	23回
			実績値	13回	14回	11回		
			達成度	△	△	△		
	備考							

政策	1 赤ちゃんに選ばれるまちになる			施策	1-2 多様な保育サービスを提供する			
重点事業名	④ 教育・保育施設の整備			所管部	子ども生活部			
事業概要	●「第二期町田市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、教育・保育施設を整備するとともに、施設整備に伴う整備費を補助します。また、地域における保育サービスの需給バランスを図るため、供給 過剰の地域は定員適正化や統廃合等の検討を進め、供給不足の地域は新規開設や既存園の増改築等を行います。 ●20年間期間限定認可保育所のあり方や公立保育園の老朽化対策について検討します。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	3歳児未満の保育サービスの提供率	45%	目標値	46%	46%	47%	47%	48%
			実績値	47%	49%	50%		
			達成度	○	○	○		
	備考							

胎児期・幼年期
(0～5歳)

少年期
(6～18歳)

青壮年期
(19～44歳)

中年期
(45～64歳)

高年期
(65歳～)

＼ 政策 ＼

2

未来を生きる力を
育み合うまちになる



政策	2 未来を生きる力を育み合うまちになる			施策	2－1 子どもが自分らしく育つ場を提供する			
重点事業名	① 子どもの参画の推進			所管部	子ども生活部			
事業概要	●ユニセフが主唱し、世界的な広がりを見せている「子どもにやさしいまち(CFC)」を実現するため、 市政を考える若者グループ「町田創造プロジェクト(通称:MSP)」等の活動を通じて、子どもの 意見を市の施策に反映することで「子どもにやさしいまち」の主たる構成要素である「子どもの参画」を推進します。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	子どもが意見を発信する回数	4回	目標値	4回	5回	5回	6回	6回
			実績値	12回	12回	8回		
			達成度	○	○	○		
	備考							

政策	2 未来を生きる力を育み合うまちになる			施策	2-1 子どもが自分らしく育つ場を提供する			
重点事業名	② 子どもクラブの整備			所管部	子ども生活部			
事業概要	●子どもの居場所の更なる充実を図るため、「新・町田市子どもマスタープラン」に基づき、子どもセンターを補完する子どもクラブの整備を進めます。また、整備にあたっては地域の子どもの意見を反映します。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	子どもクラブ 累計施設数	6施設	目標値	6施設 (一)	7施設 (1施設/年)	8施設 (1施設/年)	8施設 (一)	9施設 (1施設/年)
			実績値	6施設 (一)	7施設 (1施設/年)	7施設 (一)		
			達成度	—	○	△		
	備考							

政策	2 未来を生きる力を育み合うまちになる			施策	2-1 子どもが自分らしく育つ場を提供する			
重点事業名	③ 学童保育クラブの整備			所管部	子ども生活部			
事業概要	●学童保育クラブの適切な育成環境を整えるため、施設の狭あい化や老朽化の解消、設備（空気調和設備等）の更新を計画的に進めます。 ●教育活動から放課後の生活の場までを学校内で完結できるよう、学校や地域との連携による一体的な施設整備を計画的に進め、子どもたちにとって「安全、安心」な環境をつくります。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	学童保育クラブ整備 累計施設数	1施設	目標値	2施設	4施設 (2施設/年)	7施設 (3施設/年)	12施設 (5施設/年)	14施設 (2施設/年)
			実績値	1施設	3施設 (2施設/年)	4施設 (2施設/年)		
			達成度	△	○	△		
	備考							

政策	2 未来を生きる力を育み合うまちになる			施策	2ー2 学ぶ意欲を育てる			
重点事業名	① えいごのまちだの推進			所管部	学校教育部			
事業概要	●これまで先進的に取り組んできた英語教育を更に発展させるため、英語によるコミュニケーション能力の育成に重心を置いた町田ならではの「えいごのまちだ」に取り組めます。 ●町田発の新しい英語教育を義務教育の初期から展開することで、10年後、20年後の町田の未来を支える人材を育成すると同時に「英語教育で選ばれるまちだ」を実現します。							
	指標	現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	中学2年生の GTECトータル スコア398点 (3年生英検3 級 程度の能 力相当)取得 した生徒の割 合	—	目標値	55%	56%	57%	58%	60%
			実績値	53.9%	53.6%	—	—	—
			達成度	△	△	—	—	—
	備考							
2	英語で自分の 考えや気持ち を伝え合うこ とが楽しいと感 じる小学校5・6 年生の割合	—	目標値	70%	71%	72%	73%	75%
			実績値	71.9%	72.0%	72.6%		
			達成度	○	○	○		
	備考							
3	英語で書いたり 話したりして 自分の考えや 気持ちを伝え 合うことが楽し いと感じる中 学生の割合	—	目標値	55%	56%	57%	58%	60%
			実績値	68.3%	68.8%	71.2%		
			達成度	○	○	○		
	備考							

政策	2 未来を生きる力を育み合うまちになる			施策	2ー2 学ぶ意欲を育てる			
重点事業名	② ICT教育の充実			所管部	学校教育部			
事業概要	●児童生徒の学習意欲を高め、課題を見出し解決する力を育成するため、ICT機器を活用した授業づくりを推進します。 また、ICT支援員によるICT機器の活用サポート、導入機器の更改、デジタル教材を導入します。 ●クラウド型学習支援コンテンツ(ドリルソフト)を活用し、個別最適化された学習による学力の向上を図ります。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	授業の中でICTを活用することに不安があると感じている教員の割合	59%	目標値	50%	45%	38%	32%	25%
			実績値	54.2%	45.6%	44.4%		
			達成度	△	△	△		
	備考							
2	学習ドリルソフトを使って、自分の苦手なところを復習しながら、学習を進めている小学生(第5・6学年)・中学生(第1学年)の割合	小 82.3% 中 53.9%	目標値	小 82.5% 中 56.0%	小 82.7% 中 57.0%	小 82.9% 中 58.0%	小 83.1% 中 59.0%	小 83.2% 中 60.0%
			実績値	小 72.8% 中 31.4%	小 70.8% 中 42.2%	小 74.5% 中 80.7%		
			達成度	△	△	△		
	備考							

政策	2 未来を生きる力を育み合うまちになる			施策	2-2 学ぶ意欲を育てる			
重点事業名	③ 地域のスポーツ環境の充実			所管部	文化スポーツ振興部			
事業概要	●子どもがスポーツを好きになり、楽しむきっかけをつくるとともに、体力・運動能力が向上するよう、家庭、地域、学校との連携・協働を進めます。また、子どもをきっかけに、子育て世代や働き盛り世代のスポーツ実施率向上を図ります。 ●いくつになってもスポーツが楽しめるよう、様々な世代に健康増進や体力向上を目的としたスポーツ機会を提供します。 ●スポーツ環境を支える人材や組織を充実させます。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	30～49歳のスポーツ実施率	男性 50.0% 女性 58.1% (2020年度)	目標値	男性 58.7% 女性 65.7%	男性 60.6% 女性 66.4%	男性 62.5% 女性 67.1%	男性 64.4% 女性 67.8%	男性 66.3% 女性 68.5%
			実績値	男性 47.3% 女性 59.5%	男性 54.9% 女性 58.8%	男性 48.6% 女性 32.6%		
			達成度	△	△	△		
	備考							
2	スポーツに関するボランティアを行った割合	3.8% (2020年度)	目標値	6.6%	8.0%	9.4%	10.8%	12.2%
			実績値	3.6%	3.7%	6.0%		
			達成度	△	△	△		
	備考							

政策	2 未来を生きる力を育み合うまちになる			施策	2-2 学ぶ意欲を育てる			
重点事業名	④ キャリア教育の推進			所管部	学校教育部			
事業概要	●市立中学校2年生を対象に、職業や働くことの意味を考える契機を提供するため、職場体験プログラムを実施します。 ●ものづくりに対する興味や関心を高めるため、企業による出前講座や仕事の体験を教育活動として実施します。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	将来の夢や目標をもっている と答えた児童・生徒の割合	小6:77.3% 中3:66.2%	目標値	小6:78% 中3:67%	小6:78% 中3:68%	小6:79% 中3:69%	小6:79% 中3:69%	小6:80% 中3:70%
			実績値	小6:77.1% 中3:65.9%	小6:78% 中3:63.4%	小6:79.5% 中3:61.8%		
			達成度	△	△	△		
	備考							

政策	2 未来を生きる力を育み合うまちになる			施策	2-3 教育環境を充実させる			
重点事業名	① 新たな学校づくりの推進			所管部	学校教育部			
事業概要	●将来の変化を予測することが困難な時代においても、町田に生まれ育つ未来の子どもたちが夢や志をもち、未来を切り拓くために必要な資質・能力を育むことができるよう、学校統合等を契機として、学校をより良い教育環境にするとともに地域の活動拠点としてより利用しやすい場所にしていきます。							
	指標	現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	新たな学校づくり基本計画検討会累計設置数	4地区	目標値	5地区 (1地区/年)	5地区 (一)	7地区 (2地区/年)	11地区 (4地区/年)	11地区 (一)
			実績値	5地区 (1地区/年)	5地区 (一)	5地区 (一)		
			達成度	○	－	△		
	備考							
2	新たな学校づくり基本計画累計策定数	—	目標値	5件	5件 (一)	7件 (2件/年)	11件 (4件/年)	11件 (一)
			実績値	5件	5件 (一)	5件 (一)		
			達成度	○	－	△		
	備考							

政策	2 未来を生きる力を育み合うまちになる			施策	2ー3 教育環境を充実させる			
重点事業名	② 中学校給食センターの整備			所管部	学校教育部			
事業概要	●2005年から実施している「選択制・ランチボックス形式」の給食から、成長期の中学生全員に安全・安心で、栄養バランスが整えられた「温かい給食」を提供するため、「全員給食・給食センター方式」に切り替えます。「食を通じた地域みんなの健康づくりの拠点」の形成をテーマに、中学校給食センターを市内3カ所に整備します。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	中学校全員給食の導入	基本計画策定	目標値	事業者選定	センター整備工事	1カ所目提供開始	2、3カ所目提供開始	
			実績値	事業者選定	センター整備工事	1カ所目提供開始		
			達成度	○	○	○		
	備考							

政策	2 未来を生きる力を育み合うまちになる			施策	2ー3 教育環境を充実させる			
重点事業名	③ 小学校施設の整備			所管部	学校教育部			
事業概要	●施設の老朽化が著しく進む学校や、児童数の減少により統合が必要な学校において、良好な教育環境の整備のため、建替えや統合先での増築、長寿命化改修を実施します。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	建替え等の設計累計着手校数	0校	目標値	0校 (一)	4校 (4校/年)	5校 (1校/年)	6校 (1校/年)	8校 (2校/年)
			実績値	—	1校	4校		
			達成度	—	△	△		
	備考							

政策	2 未来を生きる力を育み合うまちになる			施策	2ー3 教育環境を充実させる			
重点事業名	④ 中学校施設の整備			所管部	学校教育部			
事業概要	●施設の老朽化が著しく進む学校や、生徒数の減少により統合が必要な学校において、良好な教育環境の整備のため、建替えや長寿命化改修を実施します。 ●円滑な移動等に配慮が必要な生徒等への対応及び中学校の全員給食の配膳利用として、既存の学校施設にエレベーターを整備します。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	建替え等の設計累計着手校数	0校	目標値	0校 (一)	0校 (一)	0校 (一)	1校 (1校/年)	3校 (2校/年)
			実績値	—	—	—		
			達成度	—	—	—		
	備考							

政策	2 未来を生きる力を育み合うまちになる			施策	2ー3 教育環境を充実させる			
重点事業名	⑤ 特別支援学級の充実			所管部	学校教育部			
事業概要	●地域の状況や対象となる児童・生徒数の状況を踏まえて特別支援学級（自閉症・情緒障がい学級又は知的障がい学級）を整備します。また、在籍者数及び利用者数が増加傾向となっている特別支援学級及びサポートルームの教室整備等の環境整備を行います。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	特別支援学級 累計設置校数	38校	目標値	39校 (1校/年)	39校 (一)	40校 (1校/年)	40校 (一)	41校 (1校/年)
			実績値	39校 (1校/年)	39校 (一)	40校 (1校/年)		
			達成度	○	－	○		
	備考							

政策	2 未来を生きる力を育み合うまちになる			施策	2ー4 地域の教育力を高める			
重点事業名	① 学校と地域の協働			所管部	学校教育部			
事業概要	●学校が保護者や地域住民と目指す目標やビジョンを共有し、意見を学校運営に反映させる仕組みであるコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)を推進します。 ●学校と地域がより強固に連携した地域学校協働活動を進めていくため、各学校に地域学校協働本部を設置します。							
	指標	現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	地域学校協働活動項目件数	—	目標値	—	62件	124件	180件	294件
			実績値	—	82件	124件		
			達成度	—	○	○		
	備考							

胎児期・幼年期
(0～5歳)

少年期
(6～18歳)

青壮年期
(19～44歳)

中年期
(45～64歳)

高年期
(65歳～)

＼ 政策 ＼

3

自分らしい場所・時間を
持てるまちになる



政策	3 自分らしい場所・時間を持てるまちになる			施策	3-1 ビジネスしやすく、働きやすい環境をつくる			
重点事業名	① 起業・創業の魅力を発信			所管部	経済観光部			
事業概要	●より多くの方に起業・創業を働き方の選択肢のひとつとして捉えてもらえるよう、子ども、若者、女性、シニア層など幅広い人々が起業・創業に関心を持つためのきっかけづくりを行います。 ●起業・創業を希望する方、関心がある方を対象に、事業計画の作成や資金調達等に関する個別相談やセミナー等を実施します。							
	指標	現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	創業機運醸成に関するセミナー等の実施回数	12回 (2020年度)	目標値	12回	12回	12回	12回	12回
			実績値	14回	12回	14回		
			達成度	○	○	○		
	備考							
2	起業家カードの発行数	194件 (2020年度)	目標値	210件	220件	230件	240件	250件
			実績値	256件	293件	226件		
			達成度	○	○	△		
	備考							

政策	3 自分らしい場所・時間を持てるまちになる			施策	3-1 ビジネスしやすく、働きやすい環境をつくる			
重点事業名	② 事業者の新分野・新技術への進出支援			所管部	経済観光部			
事業概要	●新たな事業展開に意欲的な事業者の新しい商品・サービスの開発や、ビジネスモデルへのチャレンジを促進します。 また、開発されたアイデアや技術の保護・権利化や有効な活用に向けた支援に取り組めます。							
	指標	現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	産業財産権取得に対する補助件数	17件 (2020年度)	目標値	30件	30件	40件	40件	40件
			実績値	28件	26件	33件		
			達成度	△	△	△		
	備考							
2	新商品・新サービス開発に対する補助件数	3件 (2020年度)	目標値	6件	6件	10件	10件	10件
			実績値	6件	6件	5件		
			達成度	○	○	△		
	備考							

政策	3 自分らしい場所・時間を持てるまちになる			施策	3-1 ビジネスしやすく、働きやすい環境をつくる			
重点事業名	③ 事業者の次世代を担う人材を育成			所管部	経済観光部			
事業概要	●事業者の将来を担う人材の確保を支援するため、国や東京都との連携による就職面接会や採用相談会等を開催します。 ●従業員の人材育成やキャリア形成を支援するため、労働関連セミナー等を開催します。							
	指標	現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	就職面接会、 採用相談会等 の参加者数	234人 (2019年度)	目標値	250人	250人	250人	250人	250人
			実績値	187人	332人	370人		
			達成度	△	○	○		
	備考							
2	労働関連セミ ナー参加者数	446人 (2017～19年度 平均)	目標値	450人	450人	450人	450人	450人
			実績値	339人	379人	318人		
			達成度	△	△	△		
	備考							

重点事業名	④ 円滑な事業承継の推進			所管部	経済観光部			
事業概要	●町田市事業承継推進ネットワークの各機関と相互に連携し、個別事業者のニーズに応じた情報発信や必要な資金調達を支援するなど、事業承継を推進します。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	事業承継累計完了件数	10件 (2019～20年度の合計)	目標値	17件 (7件/年)	21件 (4件/年)	25件 (4件/年)	29件 (4件/年)	33件 (4件/年)
			実績値	39件 (15件/年)	50件 (11件/年)	75件 (25件/年)		
			達成度	○	○	○		
	備考							
2	事業承継ネットワーク個別相談受付件数	236件 (2020年度)	目標値	300件	330件	330件	330件	330件
			実績値	432件	523件	364件		
			達成度	○	○	○		
	備考							

政策	3 自分らしい場所・時間を持てるまちになる			施策	3-1 ビジネスしやすく、働きやすい環境をつくる			
重点事業名	⑤ 働きやすいまちづくりの推進			所管部	経済観光部			
事業概要	●幅広い世代が働きやすい環境づくりに向け、テレワークや在宅ワークをはじめとした多様な働き方を推進するとともに、市内で働く方が今後も安心して働き続けることができるよう、中小企業の従事者に対し、福利厚生や相談の場を提供します。							
	指標	現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	シェアオフィス等に対する中心市街地活性化奨励金交付件数	—	目標値	1件	1件	1件	1件	1件
			実績値	0件	0件	0件		
			達成度	△	△	△		
	備考							
2	町田市勤労者福祉サービスセンター会員事業所数	799事業所 (2020年度)	目標値	805事業所	810事業所	815事業所	820事業所	825事業所
			実績値	739事業所	708事業所	686事業所		
			達成度	△	△	△		
	備考							

政策	3 自分らしい場所・時間を持てるまちになる			施策	3-2 町田ならではの地域資源をいかす			
重点事業名	① シティプロモーションの推進			所管課	政策経営部			
事業概要	●市民が自分の住むまちに愛着を持てるようにするため、また、定住促進や市外からの来訪促進を図り、市内外から選ばれ続けるまちとなるため「まちだシティプロモーション基本計画22-26」に基づき、町田市の魅力を継続的・戦略的に市内外へ発信します。							
	指標	現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	町田市に対して愛着や親しみを感じる市民の割合	87.5%	目標値	88.1%	88.7%	89.3%	89.9%	90.5%
			実績値	85.7%	84.8%	84.0%		
			達成度	△	△	△		
	備考							
2	広告換算額	405百万円	目標値	426百万円	447百万円	468百万円	489百万円	510百万円
			実績値	1,107百万円	1,780百万円	1,615百万円		
			達成度	○	○	○		
	備考							

政策	3 自分らしい場所・時間を持てるまちになる			施策	3-2 町田ならではの地域資源をいかす			
重点事業名	② シティセールスの推進			所管部	経済観光部			
事業概要	●町田市への来訪者を増やすためにデジタルスタンプラリー、VRコンテンツ、AIチャットボット等、新しいテクノロジーを活用した観光プロモーションを推進します。 ●町田市観光コンベンション協会や観光関連事業者と連携し、市の魅力を情報発信することで、来訪意欲を高めます。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	観光入込客数	574万人 (2020年)	目標値	580万人	585万人	590万人	595万人	600万人
			実績値	573万人 (2021年)	611万人 (2022年)	610万人 (2023年)		
			達成度	△	○	○		
	備考			観光入込客数の公表が毎年10月頃のため、実績値は前年のものを記載				

政策	3 自分らしい場所・時間を持てるまちになる			施策	3-2 町田ならではの地域資源をいかす			
重点事業名	③ 町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上の推進			所管部	経済観光部／地域福祉部／都市づくり部			
事業概要	●薬師池、西園、南園、ぼたん園、リス園、ダリア園といった豊かな自然環境や歴史的資源を有する町田薬師池公園四季彩の杜に、市内外からたくさんの方々が訪れ、また何度も訪れていただけるよう、各施設の整備・改修を進めます。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	四季彩の杜 来園者数	115万人 (2020年度)	目標値	117万人	119万人	121万人	123万人	125万人
			実績値	134万人	134万人	139万人		
			達成度	○	○	○		
	備考							

政策	3 自分らしい場所・時間を持てるまちになる			施策	3-2 町田ならではの地域資源をいかす			
重点事業名	④ 香山緑地の整備			所管部	都市づくり部			
事業概要	●香山緑地を町田市の観光拠点とするため、美しい庭園と存在感のある書院造の建物をいかした緑地として整備します。また、周辺観光施設と連携を図り、施設の魅力的な運営を行うことで、鶴川地域への来訪者の増加と、地域住民の交流の場を提供することを目指します。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	香山緑地の整備	基盤整備 工事完了	目標値	建物耐震改修 工事着手	建物耐震改修 工事着手	建物耐震改修 工事完了		
			実績値	建物耐震改修 工事着手	建物耐震改修 工事着手	建物耐震改修 工事完了		
			達成度	○	○	○		
	備考							

政策	3 自分らしい場所・時間を持てるまちになる			施策	3－2 町田ならではの地域資源をいかす			
重点事業名	⑤ 身近に農のあるまちづくり			所管部	経済観光部			
事業概要	●町田産農産物の地産地消を推進するため、農産物や農産物直売所等の市内農業情報をイベントや情報誌等、多様な媒体を通じて幅広い年齢層へPRします。 ●官民連携による非対面方式での農産物販売等によるECサービスを拡充・推進することで、鮮度の高い町田産農産物を購入しやすい環境を整備するとともに、買い物の時間が取れない共働き世帯や、子育て世代にアプローチしていきます。							
	指標	現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	マートステーション累計設置箇所	20カ所	目標値	22カ所 (年2カ所)				
			実績値	23カ所 (年3カ所)				
			達成度	○				
	備考							
2	子育て世帯のうち「まち☆ベジ」を購入したことがある人の割合	29%	目標値		35%	38%	41%	44%
			実績値		55%	69%		
			達成度		○	○		
	備考							

※本事業では、クックパッド(株)が運営するマートステーションを設置することで「官民連携による非対面方式での農産物販売等によるECサービス」の拡充・推進をすることを計画していましたが、マートステーションのサービス縮小に伴い、2023年度以降、指標1により評価することが困難となったため、指標2を代替指標に設定して評価しています。

なお、2023年度以降は、特に子育て世帯に対して、市内の直売所への来訪を促進するイベント等に取り組んでいます。また、忙しい共働き世帯や子育て世帯が、新鮮な町田産農産物を購入しやすくなる販売方法を検討します。

政策	3 自分らしい場所・時間を持てるまちになる			施策	3-2 町田ならではの地域資源をいかす			
重点事業名	⑥ 里山環境の活用と保全			所管部	経済観光部			
事業概要	●荒廃した山林と農地を再生し、持続可能な保全につなげるため、地域住民や企業・団体等と連携して環境学習や観光・レクリエーションの場として活用するなど、時代に即した循環サイクルを構築し、住む人にも訪れる人にも居心地のよいまちだの里山となることを目指します。							
	指標	現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	里山への 来訪者数	26,711人 (2020年度)	目標値	28,000人	29,000人	30,000人	31,000人	32,000人
			実績値	33,045人	33,804人	35,486人		
			達成度	○	○	○		
	備考							

胎児期・幼年期
(0～5歳)

少年期
(6～18歳)

育壮年期
(19～44歳)

中年期
(45～64歳)

高年期
(65歳～)

＼ 政策 ＼

4

いくつになっても自分の
楽しみが見つかるまちになる



政策	4 いくつになっても自分の楽しみが見つかるまちになる			施策	4－1 生涯にわたる学習の「しやすい」を支援する			
重点事業名	① ワタシが主役の図書館づくりの推進			所管部	生涯学習部			
事業概要	●誰もが安心して過ごせる地域の居場所をつくるため、鶴川図書館をコミュニティ機能を併せ持つ市民協働型の運営へと転換します。 ●市民の読書環境を拡充するため、地域文庫など読書に関わる団体や個人の取り組みを積極的に支援します。							
	指標	現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	市民協働運営の施設数	—	目標値	—	1ヵ所	—	—	—
			実績値	—	0ヵ所	0ヵ所		
			達成度	—	△	△		
	備考							
2	読書普及の取り組み紹介数	19件	目標値	25件	28件	31件	34件	37件
			実績値	23件	23件	25件		
			達成度	△	△	△		
	備考							

政策	4 いくつになっても自分の楽しみが見つかるまちになる			施策	4－1 生涯にわたる学習の「しやすい」を支援する			
重点事業名	② 新たな図書館様式の推進			所管部	生涯学習部			
事業概要	●デジタルサービスに親しみ、暮らしに合わせた図書館サービスを提供するため、図書館へ来館しなくても24時間365日利用することができる電子書籍サービスを導入します。 ●暮らしの中で本に触れる機会を増やすため、移動図書館車両を小型化し、運行場所を拡大させます。また、予約資料受渡場所を新設します。							
	指標	現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	図書館サービスを利用していない市民の割合	51.3% (2017年度)	目標値	—	—	—	—	25.0%
			実績値	—	—	—		
			達成度	—	—	—		
	備考							
2	予約資料受渡場所累計施設数	5施設	目標値	5施設 (－)	6施設 (1施設/年)	6施設 (－)	6施設 (－)	6施設 (－)
			実績値	5施設 (－)	6施設 (1施設/年)	6施設 (－)		
			達成度	—	○	○		
	備考							

政策	4 いくつになっても自分の楽しみが見つかるまちになる			施策	4-1 生涯にわたる学習の「しやすい」を支援する			
重点事業名	③ 新たな学びの支援			所管部	生涯学習部			
事業概要	●デジタルデバイドを解消するため、デジタル初心者向けの体験講座を実施します。 ●新たに生じる社会的課題への対応を学ぶ講座を実施します。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	学習成果を今後、いかせると答えた人の割合	—	目標値	71%	72%	73%	74%	75%
			実績値	85%	88%	91%		
			達成度	○	○	○		
	備考							

政策	4 いくつになっても自分を楽しみが見つかるまちになる			施策	4ー2 スポーツへの参加機会を充実させる			
重点事業名	① 地域のスポーツ環境の充実(再掲)			所管部	文化スポーツ振興部			
事業概要	●子どもがスポーツを好きになり、楽しむきっかけをつくるとともに、体力・運動能力が向上するよう、家庭、地域、学校との連携・協働を進めます。また、子どもをきっかけに、子育て世代や働き盛り世代のスポーツ実施率向上を図ります。 ●いくつになってもスポーツが楽しめるよう、様々な世代に健康増進や体力向上を目的としたスポーツ機会を提供します。 ●スポーツ環境を支える人材や組織を充実させます。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	30～49歳のスポーツ実施率	男性 50.0% 女性 58.1% (2020年度)	目標値	男性 58.7% 女性 65.7%	男性 60.6% 女性 66.4%	男性 62.5% 女性 67.1%	男性 64.4% 女性 67.8%	男性 66.3% 女性 68.5%
			実績値	男性 47.3% 女性 59.5%	男性 54.9% 女性 58.8%	男性 48.6% 女性 32.6%		
			達成度	△	△	△		
	備考							
2	スポーツに関するボランティアを行った割合	3.8% (2020年度)	目標値	6.6%	8.0%	9.4%	10.8%	12.2%
			実績値	3.6%	3.7%	6.0%		
			達成度	△	△	△		
	備考							

政策	4 いくつになっても自分の楽しみが見つかるまちになる			施策	4ー2 スポーツへの参加機会を充実させる			
重点事業名	② 野津田公園スポーツの森の整備			所管部	都市づくり部			
事業概要	●自然の中で楽しむ総合スポーツパークを目指した第二次野津田公園整備基本計画に基づき、幅広いスポーツやレクリエーションを楽しめるように野津田公園全体を再整備します。 ●第2期整備区域であるパークセンターゾーン※の設計及び整備工事に着手します。							
	指標	現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	テニスコートの整備	整備工事完了	目標値	整備工事完了	—	—	—	—
			実績値	整備工事完了	—	—		
			達成度	○	—	—		
	備考							
2	パークセンターゾーン※の整備	基本設計着手	目標値	—	基本設計完了	実施設計完了	整備工事着手	整備工事実施
			実績値	—	基本設計着手	基本設計完了		
			達成度	—	△	△		
	備考			※パークセンターゾーンのうち、スケートパーク				

政策	4 いくつになっても自分の楽しみが見つかるまちになる			施策	4-2 スポーツへの参加機会を充実させる			
重点事業名	③ スポーツをする場の環境整備			所管部	文化スポーツ振興部／都市づくり部			
事業概要	●市民誰もがスポーツに親しめる環境を創出するため、学校跡地や予定地、調整池等をスポーツ施設を併設した公園等として整備し、利用しやすい、身近なスポーツ環境を充実していきます。 ●「小山上沼調整池」、「後田グラウンド」及び「境川金森調節池」を運動施設がある公園として整備するとともに、「忠生第六小学校」跡地に、給食センターの整備に合わせて体育館を整備します。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	「子どものスポーツや外遊びの環境が悪くなった」と答えた市民の割合	63.5% (2020年度)	目標値	53.9%	49.1%	44.3%	39.5%	34.7%
			実績値	59.2%	43.8%	51.6%		
			達成度	△	○	△		
	備考							

政策	4 いくつになっても自分の楽しみが見つかるまちになる			施策	4-2 スポーツへの参加機会を充実させる			
重点事業名	④ 忠生スポーツ公園の整備			所管部	都市づくり部／環境資源部			
事業概要	●最終処分場の上部を活用し、スポーツ施設などの整備を行うことで、多世代が集える公園として活用を図ります。 ●池の辺地区にはさまざまな世代が目的に応じた使い方ができる広場を、峠谷地区（旧埋立地を含む）には複数のスポーツ施設を整備します。							
	指標	現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	池の辺地区の整備	整備工事着手	目標値	整備工事実施	整備工事完了	—	—	—
			実績値	整備工事実施	整備工事完了	—		
			達成度	○	○	—		
	備考							
2	峠谷地区の整備	—	目標値	—	—	—	—	基本設計着手
			実績値	—	—	—		
			達成度	—	—	—		
	備考							

政策	4 いくつになっても自分の楽しみが見つかるまちになる			施策	4-2 スポーツへの参加機会を充実させる			
重点事業名	⑤ ホームタウンチーム等の連携の推進			所管部	文化スポーツ振興部			
事業概要	●ホームタウンチームや市内のスポーツ関係団体、学校、民間事業者等と連携・協働し、スポーツに関心を持つ市民を増やしていくことで、シティプロモーションのコンテンツとしてスポーツを位置付けます。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	ホームタウンチームを知っている市民の割合	69.7% (2020年度)	目標値	71.7%	72.7%	73.7%	74.7%	75.7%
			実績値	73.0%	74.0%	77.8%		
			達成度	○	○	○		
	備考							

胎児期・幼年期
(0～5歳)

少年期
(6～18歳)

育壮年期
(19～44歳)

中年期
(45～64歳)

高年期
(65歳～)

＼ 政策 ＼

5

人生の豊かさを
実感できるまちになる



政策	5 人生の豊かさを実感できるまちになる			施策	5-1 高齢者が地域でいきいきと暮らせる環境をつくる			
重点事業名	① 地域介護予防活動支援			所管部	いきいき生活部			
事業概要	●高齢者が住み慣れた地域で自分らしく生活が続けられるよう、身近な地域での介護予防活動や生きがい・健康づくりを推進します。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	「町トレ」自主グループ累計数	173団体※	目標値	186団体 (12団体/年)	198団体 (12団体/年)	210団体 (12団体/年)	222団体 (12団体/年)	234団体 (12団体/年)
			実績値	193団体 (20団体/年)	210団体 (17団体/年)	225団体 (15団体/年)		
			達成度	○	○	○		
	備考			※5ヵ年計画の冊子上では、現状値に暫定値の「174団体」を記載していますが、確定値の「173団体」に基づき、評価しています。				

政策	5 人生の豊かさを実感できるまちになる			施策	5-2 高齢者を地域で支える体制をつくる			
重点事業名	① 認知症の人とその家族の居場所づくり			所管部	いきいき生活部			
事業概要	●「認知症とともに生きるまちづくり」を推進するため、認知症当事者やその家族、市民、地域の関係者等が参加するワークショップを通して、認知症の人やその家族と地域との繋がりや、自分らしく過ごせる居場所づくりに取り組みます。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	まちづくりワークショップの累計参加者数	—	目標値	30人	60人 (30人/年)	90人 (30人/年)	120人 (30人/年)	150人 (30人/年)
			実績値	128人	216人 (88人/年)	325人 (109人/年)		
			達成度	○	○	○		
	備考							

政策	5 人生の豊かさを実感できるまちになる			施策	5－2 高齢者を地域で支える体制をつくる			
重点事業名	② 介護人材の確保・育成・定着			所管部	いきいき生活部			
事業概要	●深刻化する介護人材不足に対応するため、中長期的な展望のもと、介護人材バンク機能強化による多様な担い手の確保や中核となる専門人材の育成・定着に取り組めます。							
	指標	現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	介護人材バンクによる就労人数	45人 (2020年度)	目標値	45人	45人	45人	45人	45人
			実績値	49人	63人	54人		
			達成度	○	○	○		
	備考							

全世代に向けて

政策／

6

つながりを力にする
まちになる



政策	6 つながりを力にするまちになる			施策	6ー1 つながり、支え合える基盤をつくる			
重点事業名	① 地域活動団体支援			所管部	市民部			
事業概要	●町内会・自治会やNPOなどの市内で活動する団体に対し、事業実施による成果創出に向けたビジョン・ミッション・計画の策定、新規事業実施等の支援並びに財源獲得に向けた支援を行います。 ●市民の地域活動への参加を促進するため、講座の実施や地域活動の周知に取り組むとともに、市民の「やりたいこと」、「できること」と地域ニーズのマッチングを行う仕組みを構築します。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	支援を行ったことで活動の活性化につながった累計団体数	65団体	目標値	100団体 (35団体/年)	135団体 (35団体/年)	170団体 (35団体/年)	205団体 (35団体/年)	240団体 (35団体/年)
			実績値	107団体 (42団体/年)	145団体 (38団体/年)	192団体 (47団体/年)		
			達成度	○	○	○		
	備考							
2	マッチング累計件数	10件	目標値	22件 (12件/年)	34件 (12件/年)	46件 (12件/年)	58件 (12件/年)	70件 (12件/年)
			実績値	31件 (21件/年)	53件 (22件/年)	74件 (21件/年)		
			達成度	○	○	○		
	備考							

政策	6 つながりを力にするまちにする			施策	6-1 つながり、支え合える基盤をつくる			
重点事業名	② ワタシが主役の図書館づくりの推進(再掲)			所管部	生涯学習部			
事業概要	●誰もが安心して過ごせる地域の居場所をつくるため、鶴川図書館をコミュニティ機能を併せ持つ市民協働型の運営へと転換します。 ●市民の読書環境を拡充するため、地域文庫など読書に関わる団体や個人の取り組みを積極的に支援します。							
	指標	現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	市民協働運営の施設数	—	目標値	—	1ヵ所	—	—	—
			実績値	—	0ヵ所	0ヵ所		
			達成度	—	△	△		
	備考							
2	読書普及の取り組み紹介数	19件	目標値	25件	28件	31件	34件	37件
			実績値	23件	23件	25件		
			達成度	△	△	△		
	備考							

政策	6 つながりを力にするまちになる			施策	6－1 つながり、支え合える基盤をつくる			
重点事業名	③ 地域における福祉の困りごと相談支援体制の強化			所管部	地域福祉部			
事業概要	●「8050問題」や「ダブルケア」等、市民の困りごとが複雑化・複合化している中、相談者が身近な地域の相談支援機関においてまとめて相談することができ、早期に複数の支援機関による連携した支援を受けられるよう、新たな相談支援体制を市内10地区に整備します。 ●ひきこもり等により必要な支援につなげることができない潜在的な相談者が社会的に孤立しないよう、地域福祉コーディネーターを導入し、アウトリーチを通じた継続的な支援を行います。							
	指標	現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	新たな相談支援体制の導入累計地区数	—	目標値	2地区	4地区 (2地区/年)	7地区 (3地区/年)	10地区 (3地区/年)	
			実績値	2地区	3地区 (1地区/年)	7地区 (4地区/年)		
			達成度	○	△	○		
	備考							

政策	6 つながりを力にするまちになる			施策	6-2 つながり、みんなで将来に受け継ぐ持続可能な環境をつくる			
重点事業名	① 地球温暖化対策の推進			所管部	環境資源部			
事業概要	●温室効果ガスの排出量を削減するため、次世代エネルギー等（家庭用燃料電池、燃料電池自動車（FCV）、充放電設備（V2H））の利用を促進します。 ●市が所有する業務用車両に次世代自動車（小型EV）を導入するための検証を行います。 ●次世代エネルギー等の普及啓発のため、環境学習会を開催します。							
	指標	現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	家庭用燃料電池設置 累計補助件数	—	目標値	150件	350件 （200件/年）	550件 （200件/年）	750件 （200件/年）	950件 （200件/年）
			実績値	147件	265件 （118件/年）	434件 （169件/年）		
			達成度	△	△	△		
	備考							
2	燃料電池自動車（FCV）導入 累計補助件数	—	目標値	—	10件	20件 （10件/年）	30件 （10件/年）	40件 （10件/年）
			実績値	—	0件	0件		
			達成度	—	△	△		
	備考							

政策	6 つながりを力にするまちになる			施策	6-2 つながり、みんなで将来に受け継ぐ持続可能な環境をつくる			
重点事業名	② 資源循環型施設の整備			所管部	環境資源部			
事業概要	●資源循環型のまちづくりを実現するため、老朽化したごみ処理施設に代わり、新たに整備したバイオエネルギーセンターを適切に管理運営していくとともに、既存工場棟の解体、ストックヤード棟の建設を進めます。また、資源ごみ処理施設(容器包装プラスチック圧縮梱包施設など)を整備します。							
	指標	現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	町田市バイオエネルギーセンターの整備	100.0%	目標値	95.1%	99.1%	100%	—	—
			実績値	95.0%	98.6%	100.0%	—	—
			達成度	△	△	○	—	—
	備考							
2	相原地区資源ごみ処理施設の整備	0%	目標値	0%	0%	50%	100%	—
			実績値	—	—	0.0%		
			達成度	—	—	△		
	備考							

政策	6 つながりを力にするまちになる			施策	6-2 つながり、みんなで将来に受け継ぐ持続可能な環境をつくる			
重点事業名	③ プラスチックごみの減量の推進			所管部	環境資源部			
事業概要	●環境負荷の低減を図るため、プラスチックごみの減量（発生抑制）について、市民一人ひとりが自分事の課題として捉えてもらえるよう、環境講座や情報発信を行います。							
	指標	現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	容器包装プラスチック排出削減量	—	目標値	400t	600t	800t	1,000t	
			実績値	241t	229t	1,025t		
			達成度	△	△	○		
	備考							

全世代に向けて

＼ 政策 ＼

7

ありのまま自分を
表現できるまちになる



政策	7 ありのまま自分を表現できるまちになる			施策	7ー1 一人ひとりの個性を大切にする地域をつくる			
重点事業名	① 性の多様性への理解の促進			所管部	市民部			
事業概要	●性の多様性を尊重する意識を醸成するため、性的マイノリティやその家族などの悩みや不安に寄り添うLGBT相談を実施するとともに、市民に対して講座・講演会などを通じて広く情報発信します。 ●同性カップルを婚姻相当の関係であると認める“パートナーシップ制度”について、導入に向けた検討を進めます。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	性の多様性に関する情報発信回数	1回	目標値	2回	3回	3回	3回	3回
			実績値	4回	10回	13回		
			達成度	○	○	○		
	備考							

政策	7 ありのまま自分を表現できるまちになる			施策	7-1 一人ひとりの個性を大切にする地域をつくる			
重点事業名	② 障がい者差別解消推進			所管部	地域福祉部			
事業概要	●障がいのある方への不当な差別的取扱いを解消するため、障がい者差別解消条例を制定します。また、障がい者差別の事例、望ましい配慮や対応及び相談窓口等について、広く市民・事業者に周知します。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	差別解消に関連した講座等の実施回数	—	目標値	2回	2回	2回	2回	2回
			実績値	2回	2回	47回		
			達成度	○	○	○		
	備考			「町田市障がい者差別をなくし誰もがともに生きる社会づくり条例」を制定し、2024年10月1日から施行しました。				

政策	7 ありのまま自分を表現できるまちになる			施策	7-1 一人ひとりの個性を大切にする地域をつくる			
重点事業名	③ 成年後見制度の利用支援			所管部	地域福祉部			
事業概要	●認知症高齢者等が増加し成年後見制度利用の需要が高まる中、後見人等の担い手不足を解消するため、市民感覚・目線を大切にしたいきめ細やかな後見活動を行う市民後見人の育成を推進します。また、守秘義務等の法的な知識や福祉の諸制度、コミュニケーション技術の習得等を講義や実習を通して幅広く学べる研修を実施します。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	市民後見人 累計登録者数	74人	目標値	74人 (一)	90人 (16人/年)	90人 (一)	100人 (10人/年)	100人 (一)
			実績値	74人 (一)	90人 (16人/年)	92人 (2人/年)		
			達成度	—	○	○		
	備考							

政策	7 ありのまま自分を表現できるまちになる			施策	7-2 文化芸術に親しめる環境・機会を充実させる			
重点事業名	① 芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアムの整備			所管部	文化スポーツ振興部／都市づくり部			
事業概要	●公園の価値と資源をいかし、まちなかの賑わいと連携させることで、町田らしい多様なアート・カルチャーを体現する場「パークミュージアム」の実現を目指します。 ●公園全体に美術活動を展開する拠点となる「美術エリア」を形成するため、(仮称)公園案内棟／喫茶／版画工房／アート体験棟を整備するとともに、芹ヶ谷公園と(仮称)国際工芸美術館・国際版画美術館を一体的に運営します。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	(仮称)国際工芸美術館の整備	実施設計着手	目標値	整備工事着手	整備工事実施	整備工事実施	整備工事完了	
			実績値	実施設計完了	CM業務(工事計画・工事価格確認)完了	CM業務設計反映完了		
			達成度	△	△	△		
	備考			CM(コンストラクションマネジメント)とは、適切な工事発注のため、設計を客観的に検証し、整備工事費用・内容が適切かどうかを評価する手法				
2	公園の第2期整備	基本設計完了	目標値	—	実施設計	整備工事着手	整備工事完了	
			実績値	—	実施設計未実施	実施設計未実施		
			達成度	—	△	△		
	備考							

全世代に向けて

＼ 政策 ＼

8

思わず出歩きたくなる
まちになる



政策	8 思わず出歩きたくなるまちになる			施策	8－1 気軽に出かけてつながれる環境をつくる			
重点事業名	① 小さな交通・地域を支える交通環境の整備			所管部	都市づくり部			
事業概要	●地域を快適に移動できるようにするため、地域コミュニティバス等を運行するとともに、多様な主体が行う地域の移動を支える取り組みを支援します。 ●バリアフリーに配慮した交通環境の整備など、安全性や持続性のある交通環境をつくります。							
	指標	現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	多様な主体が連携した交通の取り組みや新たな交通の実用化・実証実験等の累計件数	10件	目標値	10件 (一)	12件 (2件/年)	13件 (1件/年)	14件 (1件/年)	15件 (1件/年)
			実績値	14件 (4件/年)	15件 (1件/年)	16件 (1件/年)		
			達成度	○	○	○		
	備考							
2	整備補助を受け設置されたホームドア累計総列数	2列	目標値	4列 (2列/年)	6列 (2列/年)	—	—	—
			実績値	2列 (一)	6列 (4列/年)	—		
			達成度	△	○	—		
	備考							

政策	8 思わず出歩きたくなるまちになる			施策	8-1 気軽に出かけてつながれる環境をつくる			
重点事業名	② 大きな・速い交通の整備			所管部	都市づくり部			
事業概要	●市内と市外、拠点間のアクセスを向上させるとともに「暮らしのかなめ」を中心としたまちづくりを進めるため、関係機関と連携し、多摩都市モノレール町田方面や小田急多摩線の延伸実現に向けた検討を進めます。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	多摩都市モノレール町田方面延伸実現に向けた検討	検討中	目標値	検討	検討	検討	検討	完了
			実績値	検討	検討	検討		
			達成度	○	○	○		
	備考							

政策	8 思わず出歩きたくなるまちになる			施策	8－1 気軽に出かけてつながれる環境をつくる			
重点事業名	③ 自転車利用環境の整備			担当部	道路部			
事業概要	●自転車が移動しやすい環境をつくるため、地域の特性や市民等の意見を踏まえ、自転車ネットワーク計画を策定するとともに、自転車通行空間(自転車レーンなど)を整備します。							
	指標	現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	自転車通行空間の累計整備延長	3.2km	目標値	3.5km (0.3km/年)	4.3km (0.8km/年)	5.3km (1.0km/年)	6.2km (0.9km/年)	6.6km (0.4km/年)
			実績値	3.5km (0.3km/年)	4.7km (1.2km/年)	6.5km (1.8km/年)		
			達成度	○	○	○		
	備考							

政策	8 思わず出歩きたくなるまちになる			施策	8－1 気軽に出かけてつながれる環境をつくる			
重点事業名	④ 都市計画道路の整備			所管部	道路部			
事業概要	●円滑に移動できる道路網を実現するため、東京における都市計画道路の整備方針(第四次事業化計画)で選定された道路や第三次みちづくり・まちづくりパートナー事業に採択されている道路の整備を進めます。 ●鶴川駅周辺再整備基本方針に基づき、鶴川駅北口広場の整備を進めます。 ●多摩都市モノレール導入路線や市境及び都県境を越えた広域的道路ネットワークの形成を図ります。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	整備済延長 (市施行分)	60.06km	目標値	60.06km	60.11km	60.11km	60.11km	60.11km
			実績値	—	60.06km	60.06km		
			達成度	—	△	△		
	備考							

政策	8 思わず出歩きたくなるまちになる			施策	8－1 気軽に出かけてつながれる環境をつくる			
重点事業名	⑤ 準幹線道路の整備			所管部	道路部			
事業概要	●円滑な通行と交通の安全を確保するため、都市計画道路と生活道路を結ぶ準幹線道路や他市との交通ネットワークを構築する準幹線道路を、関係機関と調整・協議の上で整備します。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	整備済延長	84.46km	目標値	84.46km	85.11km	85.11km	—	—
			実績値	—	84.46km	84.46km		
			達成度	—	△	△		
	備考							

政策	8 思わず出歩きたくなるまちになる			施策	8－1 気軽に出かけてつながれる環境をつくる			
重点事業名	⑥ 鶴川駅周辺のまちづくりの推進			所管部	都市づくり部／道路部			
事業概要	●2016年に策定した「鶴川駅周辺再整備基本方針」に基づき、地域一帯の生活を支え、人々が出会い、活動が生まれる“次世代へつなぐ拠点づくり”を進めるため、北口広場の再整備をはじめ、南北自由通路整備、南口土地区画整理事業、南口アクセス道路整備を一体的に進めます。							
	指標	現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	北口広場の整備	広場整備工事	目標値	広場整備工事	広場整備工事	広場仮使用開始	広場整備工事	広場整備工事
			実績値	広場整備工事	広場仮使用開始	広場整備工事		
			達成度	○	○	○		
	備考							
2	南北自由通路の整備	実施設計完了	目標値	整備事業認可取得	整備工事	整備工事	整備工事	整備工事
			実績値	整備事業認可取得	整備工事	整備工事		
			達成度	○	○	○		
	備考							
3	南口の土地区画整理	換地設計(案)決定	目標値	事業計画(変更)	整備工事	整備工事	整備工事	整備工事
			実績値	事業計画(変更)	整備工事	整備工事		
			達成度	○	○	○		
	備考							
4	南口のアクセス道路整備	関係者協議	目標値	用地測量	用地取得	整備工事	整備工事	整備工事
			実績値	用地測量	整備工事	整備工事		
			達成度	○	○	○		
	備考							

政策	8 思わず出歩きたくなるまちになる			施策	8-1 気軽に出かけてつながれる環境をつくる			
重点事業名	⑦ 相原駅周辺のまちづくりの推進			所管部	都市づくり部／道路部			
事業概要	●「町田市相原駅東地区まちづくり構想」の実現に向けて、東口へ至る新たなアクセス道路と駅前広場を整備するとともに、駅前街区の整備に向けた検討を進めます。							
	指標	現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	東口アクセス 道路整備	用地取得	目標値	用地取得	用地取得 整備工事	用地取得 整備工事	整備工事	整備工事
			実績値	用地取得	用地取得 整備工事	用地取得 整備工事		
			達成度	○	○	○		
	備考							
2	東口駅前街区 整備	整備検討	目標値	整備手法 検討	整備手法 検討	整備検討	整備工事 （民間含）	整備工事 （民間含）
			実績値	整備手法 検討	整備手法 検討	整備手法 検討		
			達成度	○	○	△		
	備考							
3	東口駅前広場 整備	用地取得 協議	目標値	用地取得	測量・設計	測量・設計	整備工事	整備工事
			実績値	用地取得	測量・設計	設計		
			達成度	○	○	○		
	備考							

政策	8 思わず出歩きたくなるまちになる			施策	8-2 ライフスタイルに合わせて自分らしくまちを使えるようにする			
重点事業名	① 団地再生の推進			所管部	都市づくり部			
事業概要	●「町田市団地再生基本方針」に基づき、団地周辺も含めた「まち」の活性化のため、団地の居住者、独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）、東京都住宅供給公社（JKK東京）とともに、団地再生の取り組みを進めます。特に、多摩都市モノレール駅（想定）周辺の団地や地区再生方針が策定されている団地を重点的に進めていきます。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	団地再生に向けた取り組みを行っている累計団地数	10団地	目標値	10団地（一）	10団地（一）	10団地（一）	11団地（1団地/年）	11団地（一）
			実績値	10団地（一）	10団地（一）	10団地（一）		
			達成度	—	—	—		
	備考							

政策	8 思わず出歩きたくなるまちになる			施策	8-2 ライフスタイルに合わせて自分らしくまちを使えるようにする			
重点事業名	② 忠生・北部丘陵地区のまちづくりの推進			所管部	都市づくり部			
事業概要	●「町田市都市づくりのマスタープラン」で掲げる暮らしとまちのビジョン実現に向けて、多摩都市モノレールの沿線となる忠生・北部丘陵地区のみどりと暮らしの関係づくりを進めます。 ●みどり空間（公園、緑地、農地、里山などのオープンスペース）を一体的に捉え、活用と保全が持続されていく仕組みや体制づくりに取り組みます。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	まちづくりの事業化	検討中	目標値	検討実施	検討実施	検討実施	事業化	
			実績値	検討実施	検討実施	検討実施		
			達成度	○	○	○		
	備考							

政策	8 思わず出歩きたくなるまちになる			施策	8-2 ライフスタイルに合わせて自分らしくまちを使えるようにする			
重点事業名	③ 木曽山崎団地地区のまちづくりの推進			所管部	都市づくり部			
事業概要	●「都市づくりのマスタープラン」で掲げる暮らしとまちのビジョン実現に向けて、多摩都市モノレールの沿線となる木曽山崎団地地区の住宅地の多機能化を進めます。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	まちづくりの事業化	検討中	目標値	検討実施	検討実施	検討実施	事業化	
			実績値	検討実施	検討実施	検討実施		
			達成度	○	○	○		
	備考							

政策	8 思わず出歩きたくなるまちになる			施策	8-2 ライフスタイルに合わせて自分らしくまちを使えるようにする			
重点事業名	④ 町田駅周辺地区のまちづくりの推進			所管部	都市づくり部			
事業概要	●「都市づくりのマスタープラン」で掲げる暮らしとまちのビジョン実現に向けて、多摩都市モノレールの新たな起終点となる町田駅周辺のウォーカブルなまちづくり及び商業地の多機能化を進めます。							
	指標	現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	まちづくりの事業化	検討中	目標値	検討実施	検討実施	検討実施	事業化	
			実績値	検討実施	検討実施	検討実施		
			達成度	○	○	○		
	備考							

政策	8 思わず出歩きたくなるまちになる			施策	8-2 ライフスタイルに合わせて自分らしくまちを使えるようにする			
重点事業名	⑤ 中心市街地の賑わい空間の創出			所管部	経済観光部／都市づくり部			
事業概要	●原町田大通りににおいて新たな憩いと賑わいの滞留空間を創出するため、パークレットを整備します。 ●原町田中央通りにおける無電柱化事業(町田835号線)に併せ、新たな賑わいや魅力に溢れ、居心地の良い通りを実現するため、沿道空間活用のガイドラインを策定し、沿道の使い方に関するルールや運用体制を整えます。 ●老朽化した原町田一丁目駐車場の建替え工事に着手します。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	「町田駅周辺の中心市街地で2時間以上過ごす」市民の割合	43.7%	目標値	56.3%	56.8%	57.2%	57.7%	58.2%
			実績値	45.5%	48.2%	48.4%		
			達成度	△	△	△		
	備考							
2	「2週間に1回以上の頻度で町田駅を訪れる」市民の割合	34.2%	目標値	50.4%	51.6%	52.8%	54.0%	55.2%
			実績値	36.0%	39.6%	41.3%		
			達成度	△	△	△		
	備考							

政策	8 思わず出歩きたくなるまちになる			施策	8-3 健やかで心地よい時間を過ごせる環境をつくる			
重点事業名	① 芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアムの整備(再掲)			所管部	文化スポーツ振興部／都市づくり部			
事業概要	●公園の価値と資源をいかし、まちなかの賑わいと連携させることで、町田らしい多様なアート・カルチャーを体現する場「パークミュージアム」の実現を目指します。 ●公園全体に美術活動を展開する拠点となる「美術エリア」を形成するため、(仮称)公園案内棟／喫茶／版画工房／アート体験棟を整備するとともに、芹ヶ谷公園と(仮称)国際工芸美術館・国際版画美術館を一体的に運営します。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	(仮称)国際工芸美術館の整備	実施設計着手	目標値	整備工事着手	整備工事実施	整備工事実施	整備工事完了	
			実績値	実施設計完了	CM業務(工事計画・工事価格確認)完了	CM業務設計反映完了		
			達成度	△	△	△		
	備考			CM(コンストラクションマネジメント)とは、適切な工事発注のため、設計を客観的に検証し、整備工事費用・内容が適切かどうかを評価する手法				
2	公園の第2期整備	基本設計完了	目標値	—	実施設計	整備工事着手	整備工事完了	
			実績値	—	実施設計未実施	実施設計未実施		
			達成度	—	△	△		
	備考							

政策	8 思わず出歩きたくなるまちになる			施策	8-3 健やかで心地よい時間を過ごせる環境をつくる			
重点事業名	② 町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上の推進(再掲)			所管部	経済観光部／地域福祉部／都市づくり部			
事業概要	●薬師池、西園、南園、ぼたん園、リス園、ダリア園といった豊かな自然環境や歴史的資源を有する町田薬師池公園四季彩の杜に、市内外からたくさんの方々が訪れ、また何度も訪れていただけるよう、各施設の整備・改修を進めます。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	四季彩の杜 来園者数	115万人 (2020年度)	目標値	117万人	119万人	121万人	123万人	125万人
			実績値	134万人	134万人	139万人		
			達成度	○	○	○		
	備考							

政策	8 思わず出歩きたくなるまちになる			施策	8-3 健やかで心地よい時間を過ごせる環境をつくる			
重点事業名	③ 野津田公園スポーツの森の整備(再掲)			所管部	都市づくり部			
事業概要	●自然の中で楽しむ総合スポーツパークを目指した第二次野津田公園整備基本計画に基づき、幅広いスポーツやレクリエーションを楽しめるように野津田公園全体を再整備します。 ●第2期整備区域であるパークセンターゾーン※の設計及び整備工事に着手します。							
	指標	現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	テニスコートの整備	整備工事完了	目標値	整備工事完了	—	—	—	—
			実績値	整備工事完了	—	—		
			達成度	○	—	—		
	備考							
2	パークセンターゾーン※の整備	基本設計着手	目標値	—	基本設計完了	実施設計完了	整備工事着手	整備工事実施
			実績値	—	基本設計着手	基本設計完了		
			達成度	—	△	△		
	備考			※パークセンターゾーンのうち、スケートパーク				

政策	8 思わず出歩きたくなるまちになる			施策	8-3 健やかで心地よい時間を過ごせる環境をつくる			
重点事業名	④ 香山緑地の整備(再掲)			所管部	都市づくり部			
事業概要	●香山緑地を町田市の観光拠点とするため、美しい庭園と存在感のある書院造の建物をいかした緑地として整備します。また、周辺観光施設と連携を図り、施設の魅力的な運営を行うことで、鶴川地域への来訪者の増加と、地域住民の交流の場を提供することを目指します。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	香山緑地の整備	基盤整備工事完了	目標値	建物耐震改修工事着手	建物耐震改修工事着手	建物耐震改修工事完了		
			実績値	建物耐震改修工事着手	建物耐震改修工事着手	建物耐震改修工事完了		
			達成度	○	○	○		
	備考							

政策	8 思わず出歩きたくなるまちになる			施策	8-3 健やかで心地よい時間を過ごせる環境をつくる			
重点事業名	⑤ (仮称)蓮田公園の整備			所管部	都市づくり部			
事業概要	●町田市バイオエネルギーセンターの建設に伴い、施設周辺の魅力向上や環境整備を推進するため、(仮称)蓮田公園基本計画に基づき、蓮田などの自然環境の保全を図ります。また、環境教育の場や地域内外の方々がレクリエーションの場として活用できる地域住民の交流の場を創出します。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	蓮田緑地の整備	基本設計完了	目標値	実施設計完了	整備工事着手 プレオープン実施	整備工事完了	—	—
			実績値	実施設計完了	整備工事着手 プレオープン実施	整備工事実施		
			達成度	○	○	△		
	備考							

政策	8 思わず出歩きたくなるまちになる			施策	8-3 健やかで心地よい時間を過ごせる環境をつくる			
重点事業名	⑥ 忠生スポーツ公園の整備(再掲)			所管部	都市づくり部／環境資源部			
事業概要	●最終処分場の上部を活用し、スポーツ施設などの整備を行うことで、多世代が集える公園として活用を図ります。 ●池の辺地区にはさまざまな世代が目的に応じた使い方ができる広場を、峠谷地区(旧埋立地を含む)には複数のスポーツ施設を整備します。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	池の辺地区の整備	整備工事着手	目標値	整備工事実施	整備工事完了	—	—	—
			実績値	整備工事実施	整備工事完了	—		
			達成度	○	○	—		
	備考							
2	峠谷地区の整備	—	目標値	—	—	—	—	基本設計着手
			実績値	—	—	—		
			達成度	—	—	—		
	備考							

政策	8 思わず出歩きたくなるまちになる			施策	8-3 健やかで心地よい時間を過ごせる環境をつくる			
重点事業名	⑦ (仮称)大戸広場の整備			所管部	都市づくり部			
事業概要	●相原地区の資源ごみ施設整備に伴い、(仮称)大戸広場基本計画のテーマ「森を守り、遊べる、学べる、癒されるみんなの広場」を踏まえ、緑を活かした地域交流を深める憩いの場として整備します。							
	指標	現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	(仮称)大戸広場の整備	基本設計完了	目標値	基本設計完了	実施設計完了	整備工事着手	整備工事完了	—
			実績値	基本設計完了	用地取得・折衝	用地取得・折衝		
			達成度	○	△	△		
	備考							

政策	8 思わず出歩きたくなるまちになる			施策	8－3 健やかで心地よい時間を過ごせる環境をつくる			
重点事業名	⑧ 都市農地の保全活用の取り組み			所管部	都市づくり部			
事業概要	●都市農地の持続可能な営農環境を整えることで、安定した都市農地の保全を目指します。 ●市民や活動団体が、多機能・多面的な利活用を更に促進できる環境の整備などに取り組み、持続的な農空間の保全を目指します。 ●農に関わる取り組みを持続化させるため、「農の風景育成地区」の指定を目指します。							
	指標	現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	生産緑地の肥培改善通知文書の発送数	2通	目標値	5通	5通	5通	5通	5通
			実績値	1通	2通	2通		
			達成度	○	○	○		
	備考							
2	市内の農業体験に参加した市民の割合	0.3%	目標値	0.3%	0.5%	0.6%	0.8%	1%
			実績値	1%	0.9%	1.2%		
			達成度	○	○	○		
	備考							

全世代に向けて

＼ 政 策 ／

9

みんなが安心できる
強いまちになる



政策	9 みんなが安心できる強いまちになる			施策	9－1 ひと・まちを災害に強くする			
重点事業名	① 自主防災リーダーの育成			所管部	防災安全部			
事業概要	●自主防災リーダーを育成するため、多様な機関と連携して「防災知識の教育」「防災活動のフォローアップ」を実施します。また、市民が防災に関する必要な情報を得られるよう、防災学習と各種訓練を提供するポータルサイトを立ち上げ、「まなぶ」「とりくむ」の2つをテーマとした、様々なコンテンツを提供します。							
	指標	現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	日頃から避難場所について確認している市民の割合	48.4%	目標値	52%	54%	56%	58%	60%
			実績値	52%	53%	56%		
			達成度	○	△	○		
	備考							
2	「とりくむ」講座実施累計地区数	—	目標値	2地区	4地区 (2地区/年)	6地区 (2地区/年)	8地区 (2地区/年)	10地区 (3地区/年)
			実績値	2地区	4地区 (2地区/年)	6地区 (2地区/年)		
			達成度	○	○	○		
	備考							

政策	9 みんなが安心できる強いまちになる			施策	9－1 ひと・まちを災害に強くする			
重点事業名	② 避難行動要支援者の避難支援体制整備			所管部	地域福祉部／いきいき生活部／保健所／子ども生活部			
事業概要	●災害発生時に、避難行動要支援者の避難支援をより実効性があるものとするため、避難行動要支援者のうち、優先度の高い者の個別避難計画を作成します。 ●個別避難計画の作成にあたり、町田市の取り組み体制や関係機関との連携体制を構築します。							
	指標	現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	個別避難計画 作成累計人数	—	目標値	—	—	100人	350人 (250人/年)	600人 (250人/年)
			実績値	—	—	56人		
			達成度	—	—	△		
	備考							

政策	9 みんなが安心できる強いまちになる			施策	9－1 ひと・まちを災害に強くする			
重点事業名	③ 地震対策（雨水管の耐震化）			所管部	下水道部			
事業概要	●下水道管渠の耐震化により、大規模地震の発生時においても、緊急輸送路等の交通障害を未然に防止するため、緊急輸送路などに布設され、かつ、液状化の可能性が高い雨水管の耐震化を実施します。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	耐震化率	0%	目標値	0%	0%	0%	0%	20.0%
			実績値	—	—	—		
			達成度	—	—	—		
	備考							

政策	9 みんなが安心できる強いまちになる			施策	9－1 ひと・まちを災害に強くする			
重点事業名	④ 地震対策（下水道処理施設の耐震化）			所管部	下水道部			
事業概要	●大規模地震の被害を最小限にするため、成瀬クリーンセンター、鶴見川クリーンセンター及び鶴川ポンプ場の耐震化を行います。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	成瀬クリーンセンターの耐震化率	64.7%	目標値	72.4%	72.4%	81.5%	81.5%	81.5%
			実績値	72.4%	72.4% (－)	81.5%		
			達成度	○	—	○		
	備考							

政策	9 みんなが安心できる強いまちになる			施策	9－1 ひと・まちを災害に強くする			
重点事業名	⑤ 浸水対策の推進			所管部	下水道部			
事業概要	●浸水被害の軽減を図るため、雨水管整備のハード対策と豪雨前のパトロール等のソフト対策を総合的に進めます。 ●効果的な浸水対策を実施していくため、過去の浸水履歴から抽出した対策箇所を優先して浸水対策を進めます。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	雨水管整備対象箇所の浸水対策累計数	3カ所	目標値	5カ所 (2カ所/年)	7カ所 (2カ所/年)	9カ所 (2カ所/年)	11カ所 (2カ所/年)	13カ所 (2カ所/年)
			実績値	3カ所 (0カ所/年)	5カ所 (2カ所/年)	5カ所 (0カ所/年)		
			達成度	△	○	△		
	備考							

政策	9 みんなが安心できる強いまちになる			施策	9ー1 ひと・まちを災害に強くする			
重点事業名	⑥ 無電柱化の推進			所管部	道路部			
事業概要	●無電柱化により安全で快適な歩行空間を確保することで良好な景観を創出するとともに、防災機能の強化にも繋げるため、町田市無電柱化推進計画で選定した路線の電線共同溝整備を、関係機関と調整・協議の上で進めます。また、各路線での沿道や地域の特性等を考慮し、まちづくりも視野に入れ合わせて検討します。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	整備済延長 (累計)	4.98km	目標値	4.98km	4.98km	4.98km	4.98km	5.88km
			実績値	4.98km (一)	4.98km (一)	4.98km (一)		
			達成度	—	—	—		
	備考							

政策	9 みんなが安心できる強いまちになる			施策	9－1 ひと・まちを災害に強くする			
重点事業名	⑦ 住宅の耐震化の促進			所管部	都市づくり部			
事業概要	●大規模な地震で住宅やブロック塀等が倒壊することによる被害を最小限にするため、旧耐震基準で建築された住宅の耐震化を促進します。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	木造住宅の耐震化率	86.0%	目標値	86.6%	87.2%	87.8%	88.4%	89.0%
			実績値	86.4%	87.2%	88.1%		
			達成度	△	○	○		
	備考							

政策	9 みんなが安心できる強いまちになる			施策	9－1 ひと・まちを災害に強くする			
重点事業名	⑧ 緊急輸送道路沿道の建築物の耐震化の促進			所管部	都市づくり部			
事業概要	●大規模な地震で沿道の建築物が倒壊することにより、緊急輸送道路が閉塞することを防ぐため、旧耐震基準で建築された建築物の耐震化を促進します。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	要安全確認計画記載建築物の耐震化率	68.4%	目標値	85.0%	90.0%	95.0%	100.0%	
			実績値	69.6%	70.4%	70.4%		
			達成度	△	△	△		
	備考							

政策	9 みんなが安心できる強いまちになる			施策	9－2 地域の安全を守る			
重点事業名	① 協働パトロールの充実			所管部	防災安全部			
事業概要	●地域の防犯意識を高め、市民や来街者にとって安全安心なまちにするため、市、警察や地域団体等に加え、親子や外国の方、学生等の幅広い方々に参加を呼びかけ、定期的に協働パトロールを実施します。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	協働パトロール回数	30回	目標値	48回	48回	48回	48回	48回
			実績値	61回	57回	67回		
			達成度	○	○	○		
	備考							

政策	9 みんなが安心できる強いまちになる			施策	9-2 地域の安全を守る			
重点事業名	② 交通安全ミーティングの推進			所管部	防災安全部			
事業概要	●交通安全意識の向上を図るため、市民が交通安全に関する疑問等を気軽に聞くことができるミーティングを実施します。また、ミーティングを通して得た情報を基に市が行う啓発活動に活用するとともに、楽しみながら交通安全が身につくデジタルツールを市民等とともに検討・開発します。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	交通安全ミーティング実施回数	—	目標値	6回	6回	6回	6回	6回
			実績値	12回	6回	6回		
			達成度	○	○	○		
	備考							

政策	9 みんなが安心できる強いまちになる			施策	9－2 地域の安全を守る			
重点事業名	③ 踏切道の改良			所管部	道路部			
事業概要	●道路及び鉄道の安全性の向上、交通の円滑化を図るため、鶴川1号踏切の踏切道の拡幅・線形改良を行うとともに、鶴川5号踏切（玉川学園正門前）の踏切道の拡幅を行います。							
	指標	現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	鶴川1号踏切の拡幅完了	調査設計完了	目標値	工事着手	工事完了			
			実績値	工事着手	工事	工事完了		
			達成度	○	△	△		
	備考							
2	鶴川5号踏切の拡幅完了	交通量調査完了	目標値	測量完了	設計着手	設計完了	工事着手	工事完了
			実績値	測量完了	設計着手	用地測量完了		
			達成度	○	○	△		
	備考							

政策	9 みんなが安心できる強いまちになる			施策	9-2 地域の安全を守る			
重点事業名	④ 道路安全設備の緊急更新			所管部	道路部			
事業概要	●交通事故のない安全・安心な町田市を実現するため、老朽化の進んだ区画線を計画的かつ定期的に更新します。							
	指標	現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	町田市内 幹線・準幹線 道路の区画線 補修工事	25%	目標値	0%	25%	50%	75%	100%
			実績値	—	25%	50%		
			達成度	—	○	○		
	備考							

政策	9 みんなが安心できる強いまちになる			施策	9－2 地域の安全を守る			
重点事業名	⑤ 自転車利用環境の整備(再掲)			担当部	道路部			
事業概要	●自転車が移動しやすい環境をつくるため、地域の特性や市民等の意見を踏まえ、自転車ネットワーク計画を策定するとともに、自転車通行空間(自転車レーンなど)を整備します。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	自転車通行空間の累計整備延長	3.2km	目標値	3.5km (0.3km/年)	4.3km (0.8km/年)	5.3km (1.0km/年)	6.2km (0.9km/年)	6.6km (0.4km/年)
			実績値	3.5km (0.3km/年)	4.7km (1.2km/年)	6.5km (1.8km/年)		
			達成度	○	○	○		
	備考							

政策	9 みんなが安心できる強いまちになる			施策	9-3 市民の健康を守る			
重点事業名	① 自殺対策の推進			所管部	保健所			
事業概要	●誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指して、「自殺対策基本法」及び「町田市自殺対策計画」に基づき、生きることの促進要因を増やす取り組みと阻害要因を減らす取り組みを行うとともに、行政、関係団体、市民等が連携して自殺対策を推進します。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	自殺死亡率 (人口10万人あたり)	15.3 (2018年～2020年平均)	目標値	14.1	13.6	13.2	12.7	12.2
			実績値	15.3 (2020年～2022年平均)	15.4 (2021年～2023年平均)	15.6 (2022年～2024年平均)		
			達成度	△	△	△		
	備考							

参考資料1 重点事業プランの達成率一覧

※各年度の「達成率」及び、政策、施策ごとの「達成率」は、参考資料2「重点事業プランの取り組み結果一覧」の「達成率(重点事業別)」の平均から算出しています。

項目名		2023年度達成率	2024年度達成率
重点事業プラン全体		88%	86%
政策1 赤ちゃんに選ばれるまちになる		97%	93%
	施策1-1 魅力ある子育て環境をつくる	98%	97%
	施策1-2 多様な保育サービスを提供する	95%	91%
政策2 未来を生きる力を育み合うまちになる		86%	87%
	施策2-1 子どもが自分らしく育つ場を提供する	92%	82%
	施策2-2 学ぶ意欲を育てる	89%	86%
	施策2-3 教育環境を充実させる	63%	88%
	施策2-4 地域の教育力を高める	100%	100%
政策3 自分らしい時間・場所を持てるまちになる		93%	90%
	施策3-1 ビジネスしやすく、働きやすい環境をつくる	86%	79%
	施策3-2 町田ならではの地域資源をいかす	99%	99%
政策4 いくつになっても自分の楽しみが見つかるまちになる		83%	77%
	施策4-1 生涯にわたる学習の「しやすい」を支援する	80%	80%
	施策4-2 スポーツへの参加機会を充実させる	85%	75%
政策5 人生の豊かさを実感できるまちになる		100%	100%
	施策5-1 高齢者が地域でいきいきと暮らせる環境をつくる	100%	100%
	施策5-2 高齢者を地域で支える体制をつくる	100%	100%
政策6 つながりを力にするまちになる		65%	72%
	施策6-1 つながり、支え合える基盤をつくる	72%	80%
	施策6-2 みんなで将来に受け継ぐ持続可能な環境をつくる	58%	63%
政策7 ありのままの自分を表現できるまちになる		88%	88%
	施策7-1 一人ひとりの個性を大切にできる地域をつくる	100%	100%
	施策7-2 文化芸術に親しめる環境・機会を充実させる	50%	50%
政策8 思わず出歩きたくなるまちになる		91%	88%
	施策8-1 気軽に出かけてつながれる環境をつくる	99%	99%
	施策8-2 ライフスタイルに合わせて自分らしくまちを使えるようにする	95%	95%
	施策8-3 健やかで心地よい時間を過ごせる環境をつくる	81%	71%
政策9 みんなが安心できる強いまちになる		87%	84%
	施策9-1 ひと・まちを災害に強くする	87%	81%
	施策9-2 地域の安全を守る	95%	95%
	施策9-3 市民の健康を守る	50%	50%

参考資料2 重点事業プランの取り組み結果一覧

- <「取り組み結果」と「達成率」の考え方>
- ・「取り組み結果」では、計画当初に立てたすべての指標について、実績値に応じて「○・△」の2段階で取り組み結果を評価しています。
○…目標値を上回った場合（目標値に対して100％以上の実績値の場合） △…目標値を下回った場合（目標値の100％未満の実績値の場合）
 - ・「達成率（指標別、重点事業別）」は、年度の目標値に対する実績値の割合を示しています。なお、100％を超える場合にも100％を上限としています。
 - ・各年度時点の「達成率」は、当該年度の全重点事業の「達成率（重点事業別）」の平均から算出しています。
 - ・各年度時点に事業・調査等を実施していないものについては、実績及び取り組み結果を「-（ハイフン）」とし、達成率の算出から除いています。
 - ・整備工事完了等の定性指標に関するもののうち、目標として設定した文字通りの状況に到達していない場合には、「達成率」を50％としています。

政策	施策		重点事業名	指標	現状値 (計画初期値)	2023年度 達成率 88%					2024年度 達成率 86%				
						目標値	実績値	達成率 (指標別)	取り組み 結果	達成率 (重点事業別)	目標値	実績値	達成率 (指標別)	取り組み 結果	達成率 (重点事業別)
No.	No.	項目													
1 赤ちゃんに選ばれるまちになる	1-1	魅力ある子育て環境をつくる	地域における子育て支援の充実	産後ケア利用申請数	380件	418件	993件	100%	○	94%	438件	1,201件	100%	○	90%
				地域子育て相談センターの相談件数	12,252件	18,000件	14,895件	83%	△		18,500件	12,863件	70%	△	
				マイ保育園累計実施園数	70園	72園	73園	100%	○		73園	73園	100%	○	
			「食」を通した地域ネットワークの構築	配達食数	201食	280食	300食	100%	○	100%	320食	342食	100%	○	100%
			ひとり親家庭の支援	高卒認定試験合格支援申請相談者数	-	10件	10件	100%	○	100%	15件	19件	100%	○	100%
				養育費確保支援申請者数	-	15件	51件	100%	○		30件	97件	100%	○	
	1-2	多様な保育サービスを提供する	送迎保育による多様な保育サービスの推進	送迎保育ステーション利用定員数	8,000人	8,000人	8,938人	100%	○	100%	8,000人	8,979人	100%	○	100%
			病児・病後児保育の充実	病児・病後児保育施設累計数	6施設	-	-	-	-	-	8施設	7施設	88%	△	88%
			保育の質の向上推進	保育サービス利用者・提供者の満足度	-	85%	100%	100%	○	85%	85%	100%	100%	○	76%
				保育士養成校等との連携回数	2回	20回	14回	70%	△		21回	11回	52%	△	
			教育・保育施設の整備	3歳児未満の保育サービスの提供率	45%	46%	49%	100%	○	100%	47%	50%	100%	○	100%
2 未来を生きる力を育み合うまちになる	2-1	子どもが自分らしく育つ場を提供する	子どもの参画の推進	子どもが意見を発信する回数	4回	5回	12回	100%	○	100%	5回	8回	100%	○	100%
			子どもクラブの整備	子どもクラブ累計施設数	6施設	7施設	7施設	100%	○	100%	8施設	7施設	88%	△	88%
			学童保育クラブの整備	学童保育クラブ整備累計施設数	-	4施設	3施設	75%	○	75%	7施設	4施設	57%	△	57%
	2-2	学ぶ意欲を育てる	えいごのまちだの推進	英語で自分の考えや気持ちを伝え合うことが楽しいと感じる小学校5・6年生の割合	-	71.0%	72.0%	100%	○	100%	72.0%	72.6%	100%	○	100%
				英語で書いたり話したりして自分の考えや気持ちを伝え合うことが楽しいと感じる中学生の割合	-	56.0%	68.8%	100%	○		57.0%	71.2%	100%	○	
			I C T教育の充実	授業の中でICTを活用することに不安があると感じている教員の割合	59.0%	45.0%	45.6%	96%	△	85%	38.0%	44.4%	70%	△	86%
				学習ドリルソフトを使って、自分の苦手なところを復習しながら、学習を進めている小学生（第5・6学年）	82.3%	82.7%	70.8%	86%	△		82.9%	74.5%	90%	△	
				学習ドリルソフトを使って、自分の苦手なところを復習しながら、学習を進めている中学生（第1学年の割合）	53.9%	57.0%	42.2%	74%	△		58.0%	80.7%	100%	○	
			地域のスポーツ環境の充実	30～49歳のスポーツ実施率(男性)	50.0%	60.6%	54.9%	91%	△	75%	62.5%	48.6%	78%	△	63%
				30～49歳のスポーツ実施率（女性）	58.1%	66.4%	58.8%	89%	△		67.1%	32.6%	49%	△	
				スポーツに関するボランティアを行った割合	3.8%	8.0%	3.7%	46%	△		9.4%	6.0%	64%	△	
			キャリア教育の推進	将来の夢や目標をもっていると答えた児童・生徒の割合(小6)	77.3%	78.0%	78.0%	100%	○	97%	79.0%	79.5%	100%	○	95%
				将来の夢や目標をもっていると答えた児童・生徒の割合(中3)	66.2%	68.0%	63.4%	93%	△		69.0%	61.8%	90%	△	
	2-3	教育環境を充実させる	新たな学校づくりの推進	新たな学校づくり等基本計画検討会累計設置数	4地区	-	-	-	-	-	7地区	5地区	71%	△	71%
				新たな学校づくり等基本計画累計策定数	-	-	-	-	-		7件	5件	71%	△	
			中学校給食センターの整備	中学校全員給食の導入	基本計画策定	センター整備工事	センター整備工事	100%	○	100%	1ヵ所目提供開始	1ヵ所目提供開始	100%	○	100%
			小学校施設の整備	建替え等の設計累計着手校（小学校）	0校	4校	1校	25%	△	25%	5校	4校	80%	△	80%
			中学校施設の整備	建替え等の設計累計着手校（中学校）	0校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			特別支援学級の充実	特別支援学級累計設置校数	38校	-	-	-	-	-	40校	40校	100%	○	100%
	2-4	地域の教育力を高める	学校と地域の協働	地域学校協働活動項目件数	-	62件	82件	100%	○	100%	124件	124件	100%	○	100%

政策	施策		重点事業名	指標	現状値 (計画初期値)	2023年度					2024年度				
						目標値	実績値	達成率 (指標別)	取り組み 結果	達成率 (重点事業別)	目標値	実績値	達成率 (指標別)	取り組み 結果	達成率 (重点事業別)
No.	No.	項目													
3 自分らしい場所・時間を持てるまちになる	3-1	ビジネスしやすく、働きやすい環境をつくる	起業・創業の魅力を発信	創業機運醸成に関するセミナー等の実施回数	12回	12回	12回	100%	○	100%	12回	14回	100%	○	99%
				起業家カードの発行数	194件	220件	293件	100%	○		230件	226件	98%	△	
			事業者の新分野・新技術への進出支援	産業財産権取得に対する補助件数	17件	30件	26件	87%	△	93%	40件	33件	83%	△	66%
				新商品・新サービス開発に対する補助件数	3件	6件	6件	100%	○		10件	5件	50%	△	
			事業者の次代を担う人材を育成	就職面接会、採用相談会等の参加者数	234人	250人	332人	100%	○	92%	250人	370人	100%	○	85%
				労働関連セミナー参加者数	446人	450人	379人	84%	△		450人	318人	71%	△	
			円滑な事業承継を推進	事業承継累計完了件数	10件	21件	50件	100%	○	100%	25件	75件	100%	○	100%
				事業承継ネットワーク個別相談受付件数	236件	330件	523件	100%	○		330件	364件	100%	○	
			働きやすいまちづくりの推進	シェアオフィス等に対する中心市街地活性化奨励金交付件数	-	1件	0件	0%	△	44%	1件	0件	0%	△	42%
				町田市勤労者福祉サービスセンター会員事業所数	799事業所	810事業所	708事業所	87%	△		815事業所	686事業所	84%	△	
	3-2	町田ならではの地域資源をいかす	シティプロモーションの推進	町田市に対して愛着や親しみを感じる市民の割合	87.5%	88.7%	84.8%	96%	△	98%	89.3%	84.0%	94%	△	97%
				広告換算額	405百万円	447百万円	1,780百万円	100%	○		468百万円	1,615百万円	100%	○	
			シティセールスの推進	観光入込客数	574万人	585万人	611万人	100%	○	100%	590万人	610万人	100%	○	100%
			町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上の推進	四季彩の杜来園者数	115万人	119万人	134万人	100%	○	100%	121万人	139万人	100%	○	100%
			香山緑地の整備	香山緑地の整備	—	建物耐震改修工事着手	建物耐震改修工事着手	100%	○	100%	建物耐震改修工事完了	建物耐震改修工事完了	100%	○	100%
			身近に農のあるまちづくり	マートステーション累計設置箇所	20カ所										
				子育て世帯のうち「まち☆ベジ」を購入したことがある人の割合	29.0%	35.0%	55.0%	100%	○	100%	38.0%	69.0%	100%	○	100%
			里山環境の活用と保全	里山への来訪者数	26,711人	29,000人	33,804人	100%	○	100%	30,000人	35,486人	100%	○	100%
4 いくつになっても自分の楽しみが見つかるまちになる	4-1	生涯にわたる学習の「しやすい」を支援する	ワタシが主役の図書館づくりの推進	市民協働運営の施設数	-	1カ所	0カ所	0%	△	41%	- (1カ所) ※2023年度	0カ所	0%	△	40%
				読書普及の取り組み紹介数	19件	28件	23件	82%	△		31件	25件	81%	△	
			新たな図書館様式の推進	図書館サービスを利用していない市民の割合	51.3%	-	-	-	-	100%	-	-	-	-	100%
				予約資料受取場所累計施設数	5施設	6施設	6施設	100%	○		6施設	6施設	100%	○	
			新たな学びの支援	学習成果を今後、いかせると答えた人の割合	-	72%	88%	100%	○	100%	73%	91%	100%	○	100%
	4-2	スポーツへの参加機会を充実させる	地域のスポーツ環境の充実(2-2③再掲)	30～49歳のスポーツ実施率(男性)	50.0%	60.6%	54.9%	91%	△	75%	62.5%	48.6%	78%	△	63%
				30～49歳のスポーツ実施率(女性)	58.1%	66.4%	58.8%	89%	△		67.1%	32.6%	49%	△	
				スポーツに関するボランティアを行った割合	3.8%	8.0%	3.7%	46%	△		9.4%	6.0%	64%	△	
			野津田公園スポーツの森の整備	テニスコートの整備	整備工事着手	-	-	-	-	50%	-	-	-	-	50%
				パークセンターゾーンの整備	-	基本設計完了	基本設計着手	50%	△		実施設計完了	基本設計完了	50%	△	
			スポーツをする場の環境整備	「子どものスポーツや外遊びの環境が悪くなった」と答えた市民の割合	63.5%	49.1%	43.8%	100%	○	100%	44.3%	51.6%	86.9%	△	87%
			忠生スポーツ公園の整備	池の辺地区の整備	整備工事着手	整備工事完了	整備工事完了	100%	○	100%	-	-	-	-	-
				峠谷地区の整備	-	-	-	-	-		-	-	-	-	
			ホームタウンチーム等との連携の推進	ホームタウンチームを知っている市民の割合	69.7%	72.7%	74.0%	100%	○	100%	73.7%	77.8%	100%	○	100%
5 人生の豊かさを実感できるまちになる	5-1	高齢者が地域でいきいきと暮らせる環境をつくる	地域介護予防活動支援	「町トレ」自主グループ累計数	174団体	198団体	210団体	100%	○	100%	210団体	225団体	100%	○	100%
	5-2	高齢者を地域で支える体制をつくる	認知症の人やその家族の居場所づくり	まちづくりワークショップの累計参加者数	—	60人	216人	100%	○	100%	90人	325人	100%	○	100%
			介護人材の確保・育成・定着	介護人材バンクによる就労人数	45人	45人	63人	100%	○	100%	45人	54人	100%	○	100%

政策	施策		重点事業名	指標	現状値 (計画初期値)	2023年度					2024年度				
						目標値	実績値	達成率 (指標別)	取り組み 結果	達成率 (重点事業別)	目標値	実績値	達成率 (指標別)	取り組み 結果	達成率 (重点事業別)
No.	No.	項目													
6 つながりを力にするまちになる	6-1	つながり、支え合える基盤をつくる	地域活動団体支援	支援を行ったことで活動の活性化につながった累計団体数	65団体	135団体	145団体	100%	○	100%	170団体	192団体	100%	○	100%
				マッチング累計件数	10件	34件	53件	100%	○		46件	74件	100%	○	
			ワタシが主役の図書館づくりの推進 (4-1①再掲)	市民協働運営の施設数	-	1カ所	0カ所	0%	△	41%	- (1カ所) ※2023年度	0カ所	0%	△	40%
				読書普及の取り組み紹介数	19件	28件	23件	82%	△		31件	25件	81%	△	
			町田市地域ホッとプランの推進	新たな相談支援体制の導入累計地区数	-	4地区	3地区	75%	△	75%	7地区	7地区	100%	○	100%
	6-2	みんなで将来に受け継ぐ持続可能な環境をつくる	地球温暖化対策の推進	家庭用燃料電池設置累計補助件数	-	350件	265件	76%	△	38%	550件	434件	79%	△	39%
				燃料電池自動車（FCV）導入累計補助件数	-	10件	0件	0%	△		20件	0件	0%	△	
			資源循環型施設の整備	町田市バイオエネルギーセンターの整備	91.6%	99.1%	98.6%	99%	△	99%	100%	100%	100%	○	50%
				相原地区資源ごみ処理施設の整備	0%	-	-	-	-		50%	0%	0%	△	
			プラスチックごみの減量の推進	容器包装プラスチック排出削減量	-	600t	229t	38%	△	38%	800t	1,025t	100%	○	100%
7 ありのまま自分を表現できるまちになる	7-1	一人ひとりの個性を大切にする地域をつくる	性の多様性への理解の促進	性の多様性に関する情報発信回数	1回	3回	10回	100%	○	100%	3回	13回	100%	○	100%
			障がい者差別解消推進	差別解消に関連した講座等の実施回数	-	2回	2回	100%	○	100%	2回	47回	100%	○	100%
			成年後見制度の利用支援	市民後見人累計登録者数	74人	90人	90人	100%	○	100%	90人	92人	100%	○	100%
	7-2	文化芸術に親しめる環境・機会を充実させる	芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアムの整備	(仮称) 国際工芸美術館の整備	実施設計着手	整備工事実施	CM業務（工事計画・工事価格確認）完了	50%	△	50%	整備工事実施	CM業務設計反映完了	50%	△	50%
				公園の第2期整備	基本設計完了	実施設計	実施設計未実施	50%	△		整備工事着手	実施設計未実施	50%	△	
8 思わず出歩きたくなるまちになる	8-1	気軽に外に出てつながれる環境をつくる	小さな交通・地域で支える交通環境の整備	多様な主体が連携した交通の取り組みや新たな交通の実用化・実証実験等の累計件数	10件	12件	15件	100%	○	100%	13件	16件	100%	○	100%
				整備補助を受け設置されたホームドア累計総列数	2列	6列	6列	100%	○		-	-	-	-	
			大きな・速い交通の整備	多摩都市モノレール町田方面延伸実現に向けた検討	検討中	検討	検討	100%	○	100%	検討	検討	100%	○	100%
			自転車利用環境の整備	自転車通行空間の累計整備延長	3.2km	4.3km	4.7km	100%	○	100%	5.3km	6.5km	100%	○	100%
			都市計画道路の整備	整備済延長（市施行分）	60.06km	60.11km	60.06km	99%	△	99%	60.11km	60.06km	99%	△	99%
			準幹線道路の整備	整備済延長	84.46km	85.11km	84.46km	99%	△	99%	85.11km	84.46km	99%	△	99%
			鶴川駅周辺のまちづくりの推進	北口広場の整備	広場整備工事	広場整備工事	広場仮使用開始	100%	○	100%	広場仮使用開始	広場整備工事	100%	○	100%
				南北自由通路の整備	実施設計完了	整備工事	整備工事	100%	○		整備工事	整備工事	100%	○	
				南口の土地区画整理	換地設計（案）決定	整備工事	整備工事	100%	○		整備工事	整備工事	100%	○	
				南口のアクセス道路整備	関係者協議	用地取得	整備工事	100%	○		整備工事	整備工事	100%	○	
			相原駅周辺のまちづくりの推進	東口アクセス路整備（相原駅）	用地取得	用地取得	用地取得整備工事	100%	○	100%	用地取得整備工事	用地取得整備工事	100%	○	100%
				東口駅前広場周辺街区整備（相原駅）	整備手法検討	整備手法検討	整備手法検討	100%	○		整備手法検討	整備手法検討	100%	○	
				東口駅前広場整備（相原駅）	用地取得協議	測量・設計	測量・設計	100%	○		測量・設計	設計	100%	○	
	8-2	ライフスタイルに合わせて自分らしくまちを使えるようにする	団地再生の推進	団地再生に向けた取り組みを行っている累計団地数	10団地	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			忠生・北部丘陵地区のまちづくりの推進	まちづくりの事業化	検討中	検討実施	検討実施	100%	○	100%	検討実施	検討実施	100%	○	100%
			木曽山崎地区のまちづくりの推進	まちづくりの事業化	検討中	検討実施	検討実施	100%	○	100%	検討実施	検討実施	100%	○	100%
			町田駅周辺地区のまちづくりの推進	まちづくりの事業化	検討中	検討実施	検討実施	100%	○	100%	検討実施	検討実施	100%	○	100%
			中心市街地の賑わい空間の創出	「町田駅周辺の中心市街地で2時間以上過ごす」市民の割合	43.7%	56.8%	48.2%	85%	△	81%	57.2%	48.4%	85%	△	81%
				「2週間に1回以上の頻度で町田駅を訪れる」市民の割合	34.2%	51.6%	39.6%	77%	△		52.8%	41.3%	78%	△	

政策	施策		重点事業名	指標	現状値 (計画初期値)	2023年度					2024年度				
						目標値	実績値	達成率 (指標別)	取り組み 結果	達成率 (重点事業別)	目標値	実績値	達成率 (指標別)	取り組み 結果	達成率 (重点事業別)
No.	No.	項目													
8 思わず 出歩きたく なるまちに なる	8-3	健やかで心地 よい時間を過 ごせる環境を つくる	芹ヶ谷公園"芸術の杜" パークミュージアムの整備 (7-2①再掲)	(仮称) 国際工芸美術館の整備	実施設計 着手	整備工事 実施	CM業務（工事計 画・工事価格確認） 完了	50%	△	50%	整備工事 実施	CM業務設計 反映完了	50%	△	50%
				公園の第2期整備	基本設計 完了	実施設計	実施設計 未実施	50%	△		整備工事 着手	実施設計未実 施	50%	△	
			町田薬師池公園四季彩の杜 魅力向上の推進	四季彩の杜来園者数	115万人	119万人	134万人	100%	○	100%	121万人	139万人	100%	○	100%
			野津田公園スポーツの森の 整備 (4-2②再掲)	テニスコートの整備	整備工事 着手	-	-	-	-	50%	-	-	-	-	50%
				パークセンターゾーンの整備	-	基本設計 完了	基本設計 着手	50%	△		実施設計 完了	基本設計 完了	50%	△	
			香山緑地の整備 (3-2④再掲)	香山緑地の整備	-	建物耐震改 修工事着手	建物耐震改修 工事着手	100%	○	100%	建物耐震改 修工事完了	建物耐震改修 工事完了	100%	○	100%
			(仮称) 蓮田公園の整備	蓮田緑地の整備	基本設計 完了	整備工事 着手 プレオープ ン実施	整備工事 着手 プレオープ ン実施	100%	○	100%	整備工事 完了	整備工事 実施	50%	△	50%
			忠生スポーツ公園の整備 (4-2④再掲)	池の辺地区の整備	整備工事 着手	整備工事 完了	整備工事 完了	100%	○	100%	-	-	-	-	-
				峠谷地区の整備	-	-	-	-	-		-	-	-	-	
			(仮称) 大戸広場の整備	(仮称) 大戸広場の整備	基本計画 完了	実施設計 完了	用地取得・ 折衝	50%	△	50%	整備工事 着手	用地取得・折 衝	50%	△	50%
			都市農地の保全活用の取組	生産緑地の肥培改善通知文書の発送 数	2通	5通	2通	100%	○	100%	5通	2通	100%	○	100%
				市内の農業体験に参加した市民の割 合	0.3%	0.5%	0.9%	100%	○		0.6%	1.2%	100%	○	
9 みんなが 安心できる 強いまちに なる	9-1	ひと・まちを 災害に強くする	自主防災リーダーの育成	日頃から避難場所について確認して いる市民の割合	48.4%	54%	53%	98%	△	99%	56%	56%	100%	○	100%
				「とりくむ」講座実施累計地区数	-	4地区	4地区	100%	○		6地区	6地区	100%	○	
			避難行動要支援者の避難支 援体制整備	個別避難計画作成累計人数	-	-	-	-	-	-	100人	56人	56%	△	56%
			地震対策 (雨水管の耐震化)	耐震化率	0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			地震対策 (下水道処理施設の耐震	成瀬クリーンセンターの耐震化率	64.7%	-	-	-	-	-	81.5%	81.5%	100%	○	100%
			浸水対策の推進	雨水管整備対象箇所の浸水対策累計 数	3カ所	7カ所	5カ所	71%	△	71%	9カ所	5カ所	56%	△	56%
			無電柱化の推進	整備済延長（累計）	4.98km	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			住宅の耐震化の促進	木造住宅の耐震化率	86.0%	87.2%	87.2%	100%	○	100%	87.8%	88.1%	100%	○	100%
			緊急輸送道路沿道の 建築物の耐震化の促進	要安全確認計画記載建築物の耐震化 率	68.4%	90.0%	70.4%	78%	△	78%	95.0%	70.4%	74%	△	74%
	9-2	地域の安全を 守る	協働パトロールの充実	協働パトロール回数	30回	48回	57回	100%	○	100%	48回	67回	100%	○	100%
			交通安全ミーティングの推 進	交通安全ミーティング実施回数	-	6回	6回	100%	○	100%	6回	6回	100%	○	100%
			踏切道の改良	鶴川1号踏切の拡幅完了	調査 設計完了	工事完了	工事	50%	△	75%	- (工事完了) ※2023年度	工事完了	100%	○	75%
				鶴川5号踏切の拡幅完了	交通量 調査完了	設計着手	設計着手	100%	○		設計完了	用地測量 完了	50%	△	
			道路安全設備の緊急更新	町田市市内幹線・準幹線道路の区画線 補修工事	0%	25%	25%	100%	○	100%	50%	50%	100%	○	100%
			自転車利用環境の整備 (8-1③再掲)	自転車通行空間の累計整備延長	3.2km	4.3km	4.7km	100%	○	100%	5.3km	6.5km	100%	○	100%
	9-3	市民の健康 を守る	心と体の健康の推進	自殺死亡率（人口10万人あたり）	15.3	13.6	15.4	50%	△	50%	13.2	15.6	50%	△	50%

経営改革プラン 目次

基本方針1 共創で新たな価値を創造する		
改革項目1-1 情報の双方向性を高める		
取り組み名		ページ
1	顧客に合わせた情報発信の拡充	110
2	緊急時における情報発信の強化	111
3	市民の声を市政に反映する仕組みの拡充	112
	オープンデータの充実	113
改革項目1-2 行政サービスのデジタル化を推進する		
取り組み名		ページ
1	マイナンバーカードの普及及び利用促進	114
2	デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進	115
改革項目1-3 多様な主体との協力体制を強化する		
取り組み名		ページ
1	共創による地域社会づくりの推進	116
2	外部意見の活用	117
3	市政モニタリングの実施	118
4	非常時に備えた組織体制の構築	119
基本方針2 対話を通して市役所能力を高める		
改革項目2-1 強くしなやかな組織を構築する		
取り組み名		ページ
1	事務事業の見直し	121
2	職員定数の適正化と事務決裁規程の見直し	122
3	非常時に備えた組織体制の構築(再掲)	123
4	市税業務改革	124
5	社会保険料に係る収納事務の民間委託及び統合	125
6	学校給食業務の運営体制の最適化	126
7	学校用務業務の運営体制の最適化	127
8	学校事務業務の運営体制の最適化	128
9	小中学校における学校経営の支援	129
10	市民センター等における最適なサービスの構築	130
改革項目2-2 未来を創る職員を育てる		
取り組み名		ページ
1	職員が能力を発揮できる職場環境づくり	131
2	人材の確保と育成の推進	132

基本方針3 次世代につなぐ財政基盤を確立する		
改革項目3-1 持続可能な財政基盤づくりを推進する		
	取り組み名	ページ
1	行政評価シートのさらなる活用	134
2	市債発行額と財政調整基金残高の適正管理	135
3	受益者負担の適正化	136
4	国民健康保険事業財政の健全化	137
5	下水道経営基盤の強化	138
6	病院事業の経営改善の推進	139
7	市庁舎の適切な維持管理と財源確保	140
8	新たな資金運用の推進	141
9	道路アセットマネジメントの推進	142
改革項目3-2 市有財産を利活用する		
	取り組み名	ページ
1	公共施設再編の推進	143
2	公共施設の管理運営手法の最適化	144

- ※参考資料3 経営改革プランの達成率一覧・・・・・・・・・・・・・145
 参考資料4 経営改革プランの取り組み結果一覧・・・・・・・・・・・・・146

＜経営改革プランのページ構成＞

【取組名】

改革項目を具体化する
取り組みの名称を記載

【事業概要】

取り組みに関する事業の
概要を記載

基本方針	1 共創で新たな価値を創造する			改革項目	1-1 情報の双方向性を高める		
取組名	1-1-1	顧客に合わせた情報発信の拡充		所管課	広報課		
目的	・効率的・効果的な広報活動の推進 ・市の広報活動に対する市民の満足度の向上						
事業概要	○デジタルを活用した広報活動の促進 ・広報紙やSNSなど、情報の受け手に合わせて、情報提供手段や内容の伝え方を工夫します。 ・情報格差を生まないよう、複数の情報提供手段を併用して情報を発信します。 ・職員誰もが適切な手段や方法で情報発信を行えるよう、広報力の向上を図ります。 ○多様な主体からの情報発信の推進 ・市民・団体・事業者など多様な主体が町田の魅力を積極的に発信する場を作ることで、多様化・複雑化している情報ニーズに応えていきます。						
指標	現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	【目標値】 年度ごとに達成 数値や状況を
数値や状況を 記載が無い場合 (度)	66.2% (2018年度)	目標値	69%以上	-	-	-	【実績値】 当該年度の実 数値や状況を
		実績値	68.2%	-	-	-	
		達成度	△	-	-	-	
備考							
2	情報発信する 場の提供累計 回数	目標値	6回	12回 (6回/年)	24回 (12回/年)	36回 (12回/年)	48回 (12回/年)
		実績値	9回	26回 (17回/年)			
		達成度	○	○			
備考							

【現状値】

現状を示す数値や状況を
記載
(年度の記載が無い場合
は 2021 年度)

【目標値】

年度ごとに達成すべき
数値や状況を記載

【実績値】

当該年度の実績を示す
数値や状況を記載

【達成度】

実績値に応じて「○・△」の2段階で達成度を表示

○…目標値を上回った場合（目標値に対して100%以上の実績値を達成した場合）

△…目標値を下回った場合（目標値の100%未満の実績値の場合）

* 2024年度時点で事業未実施及び、事業実施しているが目標指標を設定していないもの（現状維持で現状値から変化のないものを含む）については、「-（ハイフン）」としています。

\ 基本方針 /

1

共創[※]で新たな価値を
創造する



基本方針	1 共創で新たな価値を創造する			改革項目	1－1 情報の双方向性を高める			
取組名	1－1－1	顧客に合わせた情報発信の拡充			所管課	広報課		
目的	・効率的・効果的な広報活動の推進 ・市の広報活動に対する市民の満足度の向上							
事業概要	○デジタルを活用した広報活動の促進 ・ 広報紙やSNSなど、情報の受け手に合わせて、情報提供手段や内容の伝え方を工夫します。 ・ 情報格差を生まないよう、複数の情報提供手段を併用して情報を発信します。 ・ 職員誰もが適切な手段や方法で情報発信を行えるよう、広報力の向上を図ります。 ○多様な主体からの情報発信の推進 ・ 市民・団体・事業者など多様な主体が町田の魅力を積極的に発信する場を作ることで、多様化・複雑化している情報ニーズに応じていきます。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	広報活動の市民満足度	66.2% (2018年度)	目標値	69%以上	－	－	－	72%以上
			実績値	68.2%	－	－		
			達成度	△	－	－		
	備考							
2	情報発信する場の提供累計回数	－	目標値	6回	12回 (6回/年)	24回 (12回/年)	36回 (12回/年)	48回 (12回/年)
			実績値	9回	26回 (17回/年)	59回 (33回/年)		
			達成度	○	○	○		
	備考							

基本方針	1 共創で新たな価値を創造する			改革項目	1-1 情報の双方向性を高める			
取組名	1-1-2	緊急時における情報発信の強化			所管課	防災課/広報課		
目的	・災害時における市民の適切かつ速やかな避難行動の支援							
事業概要	○災害時等緊急時における情報提供体制の強化 ・災害時における被害情報や対応状況を全庁的に共有し、避難施設ごとの避難者数を市民がリアルタイムに把握することができる仕組みを構築します。 ・集約した情報は関係機関と共有し、災害対応に活用していきます。 ○長期にわたる災害時における情報の迅速な提供 ・感染症等、長期にわたる災害の際には、広報紙の緊急臨時号を発行するなど市民に対して迅速に情報を提供することができる体制を構築します。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	新たな情報提供体制の構築・運用開始	－	目標値	検討	運用開始	運用・見直し	運用・見直し	運用・見直し
			実績値	検討・構築開始	運用開始	運用・見直し		
			達成度	○	○	○		
	備考							
2	広報紙の緊急臨時号発行体制の構築	－	目標値	運用方法の検討	運用開始	－	－	－
			実績値	運用開始	運用	－		
			達成度	○	○	－		
	備考							

基本方針	1 共創で新たな価値を創造する			改革項目	1-1 情報の双方向性を高める				
取組名	1-1-3	市民の声を市政に反映する仕組みの拡充			所管課	広聴課/広報課/企画政策課/経営改革室			
目的	・市政要望の収集・分析による業務改善及び市民サービスの向上								
事業概要	○市民の声を反映した業務改善の実施 ・市民から寄せられた声をもとに、大学と連携して対応記録を分析し、業務改善につなげます。 ・無作為抽出により選出した市民を対象にアンケート調査を実施し、業務改善につなげます。 ○デジタルを活用した市民の声の収集・活用 ・デジタルを活用した新たな仕組みの導入により、各部署に寄せられた市民の声を集約し、全庁的な業務改善につなげます。また、問合せの多い意見・提案等については、個人情報に留意して公表し、市民サービスの向上を図ります。 ・AIチャットボットで検索されたサービス情報の分析を行い、全庁的に共有します。 ・市民の意向や関心を迅速に市政に反映していくため、Webアンケート調査を実施します。								
	指標	現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
1	大学と連携した対応記録の分析累計回数	-	目標値	1回	2回 (1回/年)	3回 (1回/年)	4回 (1回/年)	5回 (1回/年)	
			実績値	1回	2回 (1回/年)	3回 (1回/年)			
			達成度	○	○	○			
	備考								
2	無作為抽出アンケートの累計調査回数	-	目標値	2回	4回 (2回/年)	6回 (2回/年)	8回 (2回/年)	10回 (2回/年)	
			実績値	2回	4回 (2回/年)	6回 (2回/年)			
			達成度	○	○	○			
	備考								
3	デジタルを活用した新たな仕組みの導入	-	目標値	導入のための業務見直し	市民の声の活用方策の検討	新たな仕組みの導入準備	新たな仕組みの導入	業務改善提案の実施	
			実績値	導入のための業務見直し	市民の声の活用方策の検討	新たな仕組みの導入準備			
			達成度	○	○	○			
	備考								
4	Webアンケートの累計調査回数	-	目標値	12回	24回 (12回/年)	36回 (12回/年)	48回 (12回/年)	60回 (12回/年)	
			実績値	22回	45回 (23回/年)	66回 (21回/年)			
			達成度	○	○	○			
	備考								

基本方針	1 共創で新たな価値を創造する			改革項目	1-1 情報の双方向性を高める				
取組名	1-1-4	オープンデータの充実			所管課	総務課/デジタル戦略室			
目的	・行政データを誰もが利活用できる環境の整備								
事業概要	○オープンデータコンテンツの充実 ・町田市ホームページ及び町田市オープンデータカタログサイトに掲載するデータファイルを増やすことで、市民、地域団体、教育機関、事業者等が行政データを活用する機会を拡げます。 ・国が示す推奨データセットやオープンデータ官民ラウンドテーブルでの議論の内容を踏まえ、市民や事業者が加工や、自治体同士の比較がしやすいデータ形式で提供します。								
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
1	公開データファイル累計件数	737件	目標値	787件 (50件/年)	837件 (50件/年)	887件 (50件/年)	937件 (50件/年)	987件 (50件/年)	
			実績値	887件	1,050件	1,235件			
			達成度	○	○	○			
	備考								
2	ダウンロード件数	102,618件 (2020年度)	目標値	2021年度より増	2022年度より増	2023年度より増	2024年度より増	2025年度より増	
			実績値	516,574件 (2021年度 176,049件)	1,098,997件	1,090,487件			
			達成度	○	○	△			
	備考								

基本方針	1 共創で新たな価値を創造する			改革項目	1-2 行政サービスのデジタル化を推進する			
取組名	1-2-1	マイナンバーカードの普及及び利用促進		所管課	市民課/市民税課			
目的	・マイナンバーカードを活用した市民の利便性向上及び業務の効率化							
事業概要	○マイナンバーカードの普及率向上 ・転入・転居などの手続きの際に、マイナンバーカードの申請案内に加えて、顔写真の撮影サービスや申請書作成補助を行うなど、マイナンバーカードの普及に取り組みます。 ・市内のショッピングモールや各市民センターなどにおいて出前申請受付を行うことで、申請機会を拡充します。 ○マイナポータル・マイナンバーカードの利用促進 ・ホームページや広報紙による広報や来庁者への利用案内の配布など、マイナンバーカードの利用促進に向けた周知を行い、コンビニ交付の利用を促進します。 ・マイナポータルをはじめとした、本人確認を要するオンライン行政手続など、マイナンバーカードの利活用を促進する国の施策の検討状況を注視し、市民によるマイナンバーカード利活用の拡大に向けた取り組みを進めます。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	マイナンバーカード交付率	31.09% (2020年度)	目標値	70%	100%	100% ※2023年度目標	-	-
			実績値	67.5%	78.5%	79.2%		
			達成度	△	△	△		
	備考			※2024年度以降は国が公表する保有枚数率(1月1日時点の人口に対して、交付枚数から死亡や有効期限切れなどにより廃止されたカードの枚数を除いたものの割合)を記載				
2	出前申請受付サービスのイベント実施累計回数	1回 (2020年度)	目標値	25回 (24回/年)	49回 (24回/年)	-	-	-
			実績値	114回 (88回/年)	178回 (64回/年)	-		
			達成度	○	○	-		
	備考							
3	コンビニで発行した証明書の割合(住民票、印鑑登録証明書、戸籍全部(個人)事項証明書等)	14.36% (2020年度)	目標値	24%	26%	28%	30%	32%
			実績値	32.0%	43.6%	47.0%		
			達成度	○	○	○		
	備考							
4	コンビニで発行した証明書の割合(課税・非課税証明書)	8.67% (2020年度)	目標値	17%	19%	21%	23%	25%
			実績値	23.3%	33.4%	36.0%		
			達成度	○	○	○		
	備考							

基本方針	1 共創で新たな価値を創造する			改革項目	1-2 行政サービスのデジタル化を推進する			
取組名	1-2-2	デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進		所管課	デジタル戦略室/経営改革室			
目的	・市民にとって「すぐ使えて」「簡単」で「便利」な行政サービスの実現							
事業概要	○“e-まち”実現プロジェクトの推進 ・市民の利便性向上と市役所業務の生産性向上を目的に、組織横断的に行政のデジタル化に向けた取り組みを推進します。 ・市民が窓口に出向くことなくインターネット経由で申請・届出等ができるオンライン手続を拡充します。 ・市役所窓口等における手数料・使用料の支払いについて、キャッシュレス決済ができる行政手続を拡充します。 ○情報セキュリティの確保 ・情報セキュリティを脅かす新たなサイバー攻撃を未然に防ぐため、外部の専門家による監査を実施し、情報セキュリティを確保します。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	“e-まち”実現プロジェクトの取組累計件数	33件	目標値	38件 (5件/年)	43件 (5件/年)	48件 (5件/年)	53件 (5件/年)	58件 (5件/年)
			実績値	81件	107件	146件		
			達成度	○	○	○		
	備考							
2	オンライン化した手続累計件数	188件	目標値	213件 (25件/年)	238件 (25件/年)	263件 (25件/年)	288件 (25件/年)	313件 (25件/年)
			実績値	275件	431件	553件		
			達成度	○	○	○		
	備考							
3	情報セキュリティ外部監査の実施率	100%	目標値	100%	100%	100%	100%	100%
			実績値	100%	100%	100%		
			達成度	○	○	○		
	備考							

基本方針	1 共創で新たな価値を創造する			改革項目	1－3 多様な主体との協力体制を強化する				
取組名	1－3－1	共創による地域社会づくりの推進			所管課	市民協働推進課			
目的	・公、共、私の連携による地域課題の解決と新たな価値の創造								
取組内容	○多様な主体による地域づくりの支援 ・市民、地域団体、事業者、行政等が知恵を出し合い、つながりを深めながら協力して地域の魅力向上や課題解決を検討する対話の場を開催し、そこで生まれた地域課題解決のための取り組みを支援します。 ・対話の場には「自分ゴト」として地域課題を捉えた共感者を集め、その輪を広げていきます。 ・多様な主体の様々なアイデアを掛け合わせることで、行政だけでは成し得なかった新たな価値を創り出します。								
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
1	多様な主体の連携による地域課題解決のための取り組み数	－	目標値	55事業	60事業 (5事業/年)	65事業 (5事業/年)	70事業 (5事業/年)	75事業 (5事業/年)	
			実績値	81事業	84事業	77事業			
			達成度	○	○	○			
	備考								
2	地域活動にかかわった関係者の数	1,716人/年 (2020年)	目標値	1,750人/年	1,800人/年	1,850人/年	1,900人/年	1,950人/年	
			実績値	4,515人	6,217人	4,507人			
			達成度	○	○	○			
	備考								
3	共創・協働を意識している職員数	63%	目標値	－	－	－	70%	－	
			実績値	－	－	－			
			達成度	－	－	－			
	備考								

基本方針	1 共創で新たな価値を創造する			改革項目	1－3 多様な主体との協力体制を強化する			
取組名	1－3－2	外部意見の活用			所管課	経営改革室		
目的	・有識者等の意見の市政への反映及び行政経営の透明性の確保							
事業概要	○町田市行政経営監理委員会の実施 ・専門知識を有する有識者や市長・副市長等で構成する町田市行政経営監理委員会を開催し、委員会からの助言・提言を踏まえた行政経営を実践します。 ○包括外部監査の見直し ・2007年度の導入から15年が経過した包括外部監査制度について、これまでの成果を検証して今後の実施方法の検討を進めます。							
	指標	現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	委員会からの 助言・提言の 市政への反映 累計数	－	目標値	5件	10件 (5件/年)	15件 (5件/年)	20件 (5件/年)	25件 (5件/年)
			実績値	6件	14件	22件		
			達成度	○	○	○		
	備考							
2	包括外部監査 実施方法の見 直し	－	目標値	－	検証	検討・決定	新たな実施方 法の開始	新たな実施方 法の開始
			実績値	－	新たな実施方 法の開始	検討・決定		
			達成度	－	○	○		
	備考							
3	包括外部監査 の措置率(過 去5カ年の措 置率)	90%	目標値	90%	90%	90%	90%	90%
			実績値	98.5%	99.7%	99.4%		
			達成度	○	○	○		
	備考							

基本方針	1 共創で新たな価値を創造する			改革項目	1－3 多様な主体との協力体制を強化する			
取組名	1－3－3	市政モニタリングの実施			所管課	経営改革室/児童青少年課		
目的	・市民との行政課題や問題意識の共有 ・市民の声を行政経営・行政サービスの向上に活用							
事業概要	○市民参加型事業評価の開催 ・高校生等の子どもを含めた市民や有識者で構成する評価人チームが、事業所管課の担当者との対話を通じて事業の問題や課題等を洗い出し、現状を評価する市民参加型事業評価を開催します。その評価結果を踏まえて、事業を改善します。 ○町田市版CFCIの推進 ・ユニセフが主唱する「子どもにやさしいまち」の実現に向け、施策や事業を自己評価したのちに外部意見を聴取し、改善に取り組むことで行政サービスの向上を図ります。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	市民参加型事業評価の開催	開催準備	目標値	開催	開催準備	開催	開催準備	開催
			実績値	開催	開催準備	開催		
			達成度	○	○	○		
	備考							
2	市民参加型事業評価の改善プログラム達成率	－	目標値	－	2022年度 開催分70%	2022年度 開催分90%	2024年度 開催分70%	2024年度 開催分90%
			実績値	－	2022年度 開催分74%	2022年度 開催分91,3%		
			達成度	－	○	○		
	備考							
3	CFCI新規実施累計事業数（既存事業の改善含む）	－	目標値	2事業	4事業 （2事業/年）	6事業 （2事業/年）	8事業 （2事業/年）	10事業 （2事業/年）
			実績値	2事業	5事業 （3事業/年）	6事業 （1事業/年）		
			達成度	○	○	○		
	備考							

基本方針	1 共創で新たな価値を創造する			改革項目	1-3 多様な主体との協力体制を強化する				
取組名	1-3-4	非常時に備えた組織体制の構築			所管課	防災課/保健総務課			
目的	・自然災害や感染症などの非常時への迅速な対応								
事業概要	○防災分野における自治体間連携の強化 ・他自治体(相模原市、大和市など)との防災に関する情報共有や協定などにより、災害に備え平時から自治体間の相互支援体制を強化します。 ○市役所業務の継続性の確保と災害への対応能力の向上 ・町田市事業継続マネジメント(BCM)に基づき、研修・訓練及び検証を行いながら、町田市地域防災計画や町田市事業継続計画(BCP)や、各対策部マニュアルを定期的に修正します。 ・国および都の動向を踏まえ、市の新型コロナウイルス感染症対応を評価するとともに「町田市新型インフルエンザ等対策行動計画」を修正します。								
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
1	防災対策連絡調整会議の開催累計数	－	目標値	1回	2回 (1回/年)	3回 (1回/年)	4回 (1回/年)	5回 (1回/年)	
			実績値	1回	2回	3回			
			達成度	○	○	○			
	備考								
2	地域防災計画及び事業継続計画修正	事業継続計画(地震編)修正(2021年度)	目標値	計画の修正・検討	計画の修正・検討	計画の修正・検討	計画の修正・検討	計画の修正・検討	
			実績値	計画の修正・検討	計画の修正・検討	計画の修正・検討			
			達成度	○	○	○			
	備考								
3	町田市新型インフルエンザ等対策行動計画の修正	－	目標値	感染症対応の評価	計画の修正・検討	計画の修正・検討	計画の修正・検討	計画の修正・検討	
			実績値	感染症対応の評価	計画の修正・検討	計画の修正・検討			
			達成度	○	○	○			
	備考								

＼ 基本方針 ／

2

対話を通して 市役所能力を高める



基本方針	2 対話を通して市役所能力を高める			改革項目	2-1 強くしなやかな組織を構築する				
取組名	2-1-1	事務事業の見直し			所管課	経営改革室/デジタル戦略室			
目的	・市役所業務における事務の効率化とコストの削減								
事業概要	○業務改善プロジェクトの推進 ・市役所業務の見直しをプロジェクトにより推進し、対話を通して改革・改善に取り組みます。 ・市役所業務のデジタル化やAI・ロボティクスなどの活用により、職員の手間を省き、生産性の向上を図ります。								
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
1	業務改善プロジェクトの実施 累計業務数	-	目標値	3業務	5業務 (2業務/年)	8業務 (3業務/年)	10業務 (2業務/年)	10業務	
			実績値	3業務	14業務 (11業務/年)	22業務 (8業務/年)			
			達成度	○	○	○			
	備考								
2	デジタル技術を活用した改善業務累計数	-	目標値	35業務	70業務 (35業務/年)	105業務 (35業務/年)	140業務 (35業務/年)	175業務 (35業務/年)	
			実績値	132業務	309業務 (177業務/年)	473業務 (164業務/年)			
			達成度	○	○	○			
	備考								

基本方針	2 対話を通して市役所能力を高める			改革項目	2-1 強くしなやかな組織を構築する			
取組名	2-1-2	職員定数の適正化と事務決裁規程の見直し			所管課	総務課		
目的	・環境変化や新たな課題に対応できる効率的・効果的な執行体制の構築							
事業概要	○職員定数の適正化 ・市民サービスの向上と業務の効率化に向けて、行政手続きのデジタル化やAI・ロボティクスなどの導入・活用への取組体制を強化します。 ・重要施策の調査・企画・調整などの業務に職員を集中的に配置し、定型的な業務については、民間事業者や会計年度任用職員ヘシフトするなど、業務の担い手を最適化します。 ○事務決裁規程の見直し ・組織における意思決定の迅速化と事務の効率化に向けて、職制毎に意思決定を行う事項の水準を明確にし、事務決裁規程の決裁区分を見直します。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	職員定数	2,233人	目標値	2,213人	2,186人	2,172人	2,170人	2,141人
			実績値	2,211人	2,200人	2,191人		
			達成度	○	△	△		
	備考							
2	事務決裁規程の見直し	-	目標値	意思決定水準の検討	庁内協議、例規の整備	実施	-	-
			実績値	意思決定水準の検討	庁内協議、例規の整備	実施		
			達成度	○	○	○		
	備考							

基本方針	2 対話を通して市役所能力を高める			改革項目	2-1 強しなやかな組織を構築する			
取組名	2-1-3	非常時に備えた組織体制の構築(再掲)			所管課	防災課/保健総務課		
目的	・自然災害や感染症などの非常時への迅速な対応							
事業概要	○防災分野における自治体間連携の強化 ・他自治体(相模原市、大和市など)との防災に関する情報共有や協定などにより、災害に備え平時から自治体間の相互支援体制を強化します。 ○市役所業務の継続性の確保と災害への対応能力の向上 ・町田市事業継続マネジメント(BCM)に基づき、研修・訓練及び検証を行いながら、町田市地域防災計画や町田市事業継続計画(BCP)や、各対策部マニュアルを定期的に修正します。 ・国および都の動向を踏まえ、市の新型コロナウイルス感染症対応を評価するとともに「町田市新型インフルエンザ等対策行動計画」を修正します。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	防災対策連絡調整会議の開催累計数	-	目標値	1回	2回 (1回/年)	3回 (1回/年)	4回 (1回/年)	5回 (1回/年)
			実績値	1回	2回	3回		
			達成度	○	○	○		
	備考							
2	地域防災計画及び事業継続計画修正	事業継続計画(地震編)修正(2021年度)	目標値	計画の修正・検討	計画の修正・検討	計画の修正・検討	計画の修正・検討	計画の修正・検討
			実績値	計画の修正・検討	計画の修正・検討	計画の修正・検討		
			達成度	○	○	○		
	備考							
3	町田市新型インフルエンザ等対策行動計画の修正	-	目標値	感染症対応の評価	計画の修正・検討	計画の修正・検討	計画の修正・検討	計画の修正・検討
			実績値	感染症対応の評価	計画の修正・検討	計画の修正・検討		
			達成度	○	○	○		
	備考							

基本方針	2 対話を通して市役所能力を高める			改革項目	2-1 強くしなやかな組織を構築する				
取組名	2-1-4	市税業務改革			所管課	市民税課/資産税課/納税課			
目的	・市税業務の効率化 ・業務改善意欲にあふれる組織風土の醸成								
取組内容	○税務3課のマネジメント強化 ・税務3課(市民税課・資産税課・納税課)において、包括外部委託(BPO)を活用するなど、より効率的・効果的な業務執行体制の構築を図ります。 ・他自治体の動向等を踏まえ、国の標準仕様システムやAI・RPAなどの活用を進めます。								
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
1	税務3課における業務改善の取組事例累計数	-	目標値	1件	2件 (1件/年)	2件 (0件/年)	3件 (1件/年)	4件 (1件/年)	
			実績値	3件	5件 (2件/年)	7件 (2件/年)			
			達成度	○	○	○			
	備考								
2	包括外部委託の活用	実施準備 (市民税課) 実施 (納税課)	目標値	一部実施 (市民税課)	実施 (市民税課) 実施検討 (資産税課)	実施準備 (資産税課)	一部実施 (資産税課)	実施 (資産税課)	
			実績値	実施 (納税課) 一部実施 (市民税課)	実施 (市民税課) 実施検討 (資産税課)	実施検討 (資産税課)			
			達成度	○	○	△			
	備考								

基本方針	2 対話を通して市役所能力を高める			改革項目	2-1 強くしなやかな組織を構築する				
取組名	2-1-5	社会保険料に係る収納事務の民間委託及び統合			所管課	納税課/保険年金課/介護保険課			
目的	・効率的な事務の執行体制の構築と市民サービスの向上								
事業概要	○民間活力導入による収納事務の窓口一元化 ・国民健康保険税の収納事務と同様に、後期高齢者医療保険料及び介護保険料の収納事務においても民間活力を導入するとともに、3つの業務を統合し、収納事務の窓口を一元化します。								
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
1	民間委託及び事務の統合	-	目標値	検討・契約準備	一部実施	統合完了・委託実施	-	-	
			実績値	検討・契約準備・実施方針策定	契約統合準備	統合完了・委託実施	-	-	
			達成度	○	○	○	-	-	
	備考								

基本方針	2 対話を通して市役所能力を高める			改革項目	2-1 強くしなやかな組織を構築する				
取組名	2-1-6	学校給食業務の運営体制の最適化			所管課	保健給食課			
目的	・安全・安心でおいしい給食サービスの安定的な提供								
事業概要	○小学校における給食調理業務の運営体制の強化 ・小学校給食調理業務の委託校において給食提供体制や衛生管理について学校現場で検証を行い、安全・安心でおいしい給食を提供し続けられる体制を強化していきます。 ・直営校と委託校それぞれの役割を整理します。								
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
1	給食調理業務の委託を新たに実施する小学校の累計数	23校	目標値	26校 (3校/年)	29校 (3校/年)	32校 (3校/年)	34校 (2校/年)	36校 (2校/年)	
			実績値	26校	29校	31校			
			達成度	○	○	△			
	備考								

基本方針	2 対話を通して市役所能力を高める			改革項目	2-1 強くしなやかな組織を構築する				
取組名	2-1-7	学校用務業務の運営体制の最適化			所管課	施設課			
目的	・学校運営を支える用務サービスの安定的な提供								
事業概要	○学校用務業務の運営体制の強化 ・伐木や溶接などの特殊技術を要する業務、高所作業車の運転・操作など資格を有する職員の技能を育成し、修繕等における用務職が対応する割合を向上することで安全・安心な環境を維持します。 ・直営校による適切な委託管理を進め、用務サービスの平準化を進めます。								
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
1	修繕等における用務職が対応する割合	—	目標値	77%	79%	81%	83%	85%	
			実績値	77%	79.5%	90.8%			
			達成度	○	○	○			
	備考								

基本方針	2 対話を通して市役所能力を高める			改革項目	2-1 強くしなやかな組織を構築する			
取組名	2-1-8	学校事務業務の運営体制の最適化			所管課	教育総務課		
目的	・安定的な学校事務業務運営の確保							
事業概要	○学校事務業務の運営体制の強化 ・市内62校ある小中学校のグループ構成を再編することで、学校事務業務の質の向上と事務の効率化を進めます。 ・正規職員によるグループリーダー制を導入し、グループ内のフォロー体制を強化します。 ・正規職員、再任用職員の配置から会計年度任用職員へシフトし、より効率的・効果的な学校事務職員体制を構築します。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	学校事務職員 における正規・ 再任用の職員 数	25人	目標値	21人	20人	20人	18人	15人
			実績値	19人	19人	18人		
			達成度	○	○	○		
	備考							

基本方針	2 対話を通して市役所能力を高める			改革項目	2－1 強くしなやかな組織を構築する			
取組名	2－1－9	小中学校における学校経営の支援			所管課	教育総務課/保健給食課		
目的	・事務処理の効率化と保護者の利便性の向上 ・教員が担う業務の適正化							
事業概要	○教材費や給食費などの公会計化 ・教材費をはじめとした学校徴収金について、市が保護者から直接徴収する公会計化を行います。 ・小学校給食費に加えて中学校給食費の公会計化を行うとともに、これらの事務処理を一本化します。 ○学校管理職の働き方改革 ・副校長の業務を補助する職員である「副校長補佐」を配置し、副校長が学校マネジメント業務に一層取り組める環境を整えます。							
	指標	現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	学校徴収金の 公会計化	－	目標値	準備	実施	－	－	－
			実績値	準備	実施	－		
			達成度	○	○	－		
	備考							
2	中学校給食費 の公会計化	－	目標値	準備	準備	実施	－	－
			実績値	準備	準備	実施		
			達成度	○	○	○		
	備考							
3	副校長補佐を 配置する学校 の累計数	17校	目標値	25校 (8校/年)	33校 (8校/年)	41校 (8校/年)	49校 (8校/年)	57校 (8校/年)
			実績値	25校 (8校/年)	33校 (8校/年)	41校 (8校/年)		
			達成度	○	○	○		
	備考							

基本方針	2 対話を通して市役所能力を高める			改革項目	2－1 強くしなやかな組織を構築する				
取組名	2－1－10	市民センター等における最適なサービスの構築			所管課	市民総務課/市民協働推進課/市民課/各市民センター			
目的	・市民ニーズや環境変化を見据えた行政窓口や集会施設のサービス向上								
事業概要	○手続きのための窓口から相談窓口への転換 ・行政窓口へ来所することなく自宅あるいはコンビニなど身近な場所からのオンライン手続きが普及することを見据え、生活に関する相談などに対応できる体制を整えます。 ○施設の管理運営手法の最適化 ・市民センター・コミュニティセンター・市民フォーラムにおける指定管理者制度等の導入を検討します。								
	指標	現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
1	証明書発行に特化した窓口機能の縮小・廃止	－	目標値	検討	検討	検討	検討	実施	
			実績値	検討・実施	検討	－			
			達成度	○	○	－			
	備考			2023年度の検討の結果、証明書発行に特化した窓口機能の縮小・廃止を取り止めました。					
2	民間協働により管理運営する施設累計数	－	目標値	－	4施設	6施設 (2施設/年)	8施設 (2施設/年)	11施設 (3施設/年)	
			実績値	－	0施設	－			
			達成度	－	△	－			
	備考			2023年度の検討の結果、民間協働による管理運営の導入を取り止めました。					

基本方針	2 対話を通して市役所能力を高める			改革項目	2-2 未来を創る職員を育てる			
取組名	2-2-1	職員が能力を発揮できる職場環境づくり			所管課	職員課		
目的	・多様な人材がいきいきと活躍できる職場環境の整備							
事業概要	○メンタル疾患の未然防止 ・職員が自身のメンタル不調の兆候に気づき、対処できる力を身に付けられるよう、研修の実施や相談体制の充実を図ります。 ・ハラスメントがない働きやすい職場の実現に向けたサポートを行います。							
	○ワーク・ライフ・バランスを図り、いきいきと働くための支援 ・仕事と生活の調和を図り、すべての職員がいきいきと活躍できるように、働きやすい職場風土を醸成します。							
	○女性の活躍推進 ・女性職員が、自分らしいキャリア形成ができるよう、女性役職者の活躍事例を紹介します。また、女性先輩職員からキャリアビジョンを学ぶ機会を増やします。							
	○障がいのある職員の活躍推進 ・障がいのある職員が、能力を十分に発揮し、安心して働き続けることができるよう、障がい者生活相談員※の拡充など、サポート体制の充実を図ります。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	メンタル疾患による30日以上病休者割合 (2020年度26市平均値2.5%)	1.7% (2020年度)	目標値	26市平均値以下	26市平均値以下	26市平均値以下	26市平均値以下	26市平均値以下
			実績値	3.2% (2022年度26市平均値3.5%)	3.7% (2023年度26市平均値3.4%)	3.8% (2024年度26市平均値3.7%)		
			達成度	○	△	△		
	備考							
2	年次有給休暇の平均取得日数 (2020年度26市平均値13.1日)	15.8日 (2020年度)	目標値	26市平均値以上	26市平均値以上	26市平均値以上	26市平均値以上	26市平均値以上
			実績値	17.1日 (2021年度26市平均値13.8日)	17.8日 (2022年度26市平均値14.3日)	17.6日 (2023年度26市平均値15.2日)		
			達成度	○	○	○		
	備考			「達成度」は前年度の26市平均値を基準に判定しています(最新の26市平均値は、実績値算出時点では不明のため)。				
3	係長職に占める女性職員の割合	33.1% (2021年度)	目標値	35%	35%	35%	40%	40%
			実績値	33%	32%	34%		
			達成度	△	△	△		
	備考							
4	障がいのある職員の採用後1年以内の離職者数	0人 (2020年度)	目標値	0人	0人	0人	0人	0人
			実績値	0人	0人	0人		
			達成度	○	○	○		
	備考							

基本方針	2 対話を通して市役所能力を高める			改革項目	2ー2 未来を創る職員を育てる			
取組名	2ー2ー2	人材の確保と育成の推進			所管課	職員課/経営改革室		
目的	・時代の変化に対応し、様々な課題に積極的にチャレンジする職員の育成							
事業概要	○職員採用試験の見直し ・様々な行政課題にチャレンジする多様な人材を確保するため、採用試験の区分や試験内容、選考方法等を見直します。 ○人事交流や研修等による人材育成の推進 ・他自治体等との人事交流や、先進的なプロジェクトの知見を学ぶ研修等を通し、新たな視点や発想を得ることで、自ら考え、自ら行動し続ける職員を育成します。 ・人材育成を効果的に推進するため「町田市職員人材育成基本方針(第5期)」を策定します。 ・市民目線に立ったサービス改革に取り組み、経営品質向上活動を推進していく職員を育成します。							
	指標	現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	採用試験の見直し	試験内容等の見直し	目標値	2021年度の見直しに基づく試験の実施	検証	試験内容等の見直し	2024年度の見直しに基づく試験の実施	検証
			実績値	2021年度の見直しに基づく試験の実施	検証	試験内容等の見直し		
			達成度	○	○	○		
	備考							
2	「町田市職員人材育成基本方針」に掲げる“めざす職員像”の認知度	90.4%	目標値	-	第4期方針について 2021年度調査結果以上	-	-	第5期方針について 90%以上
			実績値	-	92.1%	-		
			達成度	-	○	-		
	備考							
3	「町田市職員人材育成基本方針(第5期)」の策定	-	目標値	-	職員意識調査の実施及び結果分析	策定	-	-
			実績値	-	職員意識調査の実施及び結果分析	策定		
			達成度	-	○	○		
	備考							
4	「経営品質向上活動」を意識している職員の割合	74.7% (2020年度)	目標値	76%	77%	78%	79%	80%
			実績値	85.1%	90.4%	92.9%		
			達成度	○	○	○		
	備考							

＼ 基本方針 ／

3

次世代につなぐ 財政基盤を確立する



基本方針	3 次世代につなぐ財政基盤を確立する			改革項目	3－1 持続可能な財政基盤づくりを推進する			
取組名	3－1－1	行政評価シートのさらなる活用			所管課	財政課/会計課		
目的	・行政評価シートを活用したPDCAサイクルによる業務改善の推進							
事業概要	○行政評価シートを活用した事業マネジメントの改善 ・これまでに蓄積された「町田市課別・事業別行政評価シート」のデータを活用し、経年比較や事業間比較、自治体間比較を行い、費用対効果の改善を図ります。 ・行政評価シートにおける成果および財務の分析を踏まえ、課題解決・目標達成に向けた今後の取り組みを着実に実施します。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	費用対効果が改善した事業の割合	26.6% (2020年度)	目標値	38%	41%	44%	47%	50%
			実績値	74.6%	51.9%	37.9%		
			達成度	○	○	△		
	備考							
2	課題解決・目標達成に向けた今後の取り組みの実施割合	－	目標値	90%	90%	90%	90%	90%
			実績値	97.8%	98.2%	98.2%		
			達成度	○	○	○		
	備考							

基本方針	3 次世代につなぐ財政基盤を確立する			改革項目	3－1 持続可能な財政基盤づくりを推進する			
取組名	3－1－2	市債発行額と財政調整基金残高の適正管理			所管課	財政課		
目的	・市債現在高（一般会計）の増加額の抑制 ・適正な市債の発行及び財政調整基金残高の維持							
取組内容	○健全な財政運営の推進 ・市債発行にあたっては、より負担の少ない方法を選択し、公債費負担の軽減を図ります。 ・老朽化する公共施設等の再編や維持保全など、必要な資金の一部に市債を活用することに伴い実質公債費比率は上昇する見込みですが、類似団体の平均以下を維持します。 ・財政調整基金年度末残高については、年度間の財源を調整し健全な財政運営を図るため、標準財政規模の約1割にあたる80億円の確保を目指し、積み立てを行います。							
	指標	現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	実質公債費比率	0.5% (2020年度)	目標値	1.3%	1.3%	1.5%	2.1%	2.6%
			実績値	1.0%	0.6%	0.5%		
			達成度	○	○	○		
	備考							
2	市債年度末現在高	875億円 (2020年度)	目標値	942億円	963億円	1,037億円	1,100億円	1,176億円
			実績値	906億円	869億円	865億円		
			達成度	○	○	○		
	備考							
3	財政調整基金年度末残高	90億円 (2020年度)	目標値	80億円	80億円	80億円	80億円	80億円
			実績値	106億円	103億円	113億円		
			達成度	○	○	○		
	備考							

基本方針	3 次世代につなぐ財政基盤を確立する			改革項目	3－1 持続可能な財政基盤づくりを推進する			
取組名	3－1－3	受益者負担の適正化			所管課	財政課		
目的	・受益者負担の「公平性」と「均衡性」の確保と市民サービスの向上							
事業概要	○基本方針の検証と受益者負担の見直し ・2019年2月に改定した「受益者負担の適正化に関する基本方針」※について、社会経済情勢や環境変化等を踏まえ、内容を検証します。 ・「受益者負担の適正化に関する基本方針」に基づき、今後も継続的にサービス原価や受益者負担割合を算定し、その結果を公表します。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	基本方針の検証	基本方針改定 (2018年度)	目標値	検証	検証	検証を踏まえた見直し	－	－
			実績値	検証	検証	検証		
			達成度	○	○	△		
	備考							
2	受益者負担の見直し	実施公表	目標値	実施公表	実施公表	実施公表	実施公表	実施公表
			実績値	実施公表	実施公表	実施公表		
			達成度	○	○	○		
	備考							

基本方針	3 次世代につなぐ財政基盤を確立する			改革項目	3－1 持続可能な財政基盤づくりを推進する				
取組名	3－1－4	国民健康保険事業財政の健全化			所管課	保険年金課			
目的	・国民健康保険事業財政基盤の改善 ・負担の公平性の確保								
事業概要	○財政改革計画に基づく国民健康保険事業財政の健全化 ・健全な財政運営に向けて、町田市国民健康保険事業財政改革計画に基づき、赤字補填を目的とした一般会計からの繰入金を削減します。 ・赤字削減のための取り組みとして、被保険者の健康の保持増進を支援することで、医療費のさらなる適正化を図ります。加えて、保険給付の適正化と保険税の徴収の適正な実施についても重点的に取り組みます。こうした取り組みを推進するとともに、将来に負担を残すことのないよう、適正な税率への見直しを行います。								
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
1	赤字額(新型コロナウイルス感染症影響分を除く)	22.2億円 (2020年度)	目標値	20.6億円	19.1億円	17.6億円	16.1億円	14.7億円	
			実績値	20.3億円	20.0億円	18.5億円			
			達成度	○	△	△			
	備考								

基本方針	3 次世代につなぐ財政基盤を確立する			改革項目	3－1 持続可能な財政基盤づくりを推進する			
取組名	3－1－5	下水道経営基盤の強化			所管課	下水道経営総務課/下水道整備課/下水道管理課/水再生センター		
目的	・下水道経営状況の適正把握による財政マネジメントの向上							
事業概要	○下水道事業の効率化・経営健全化 ・下水道事業経営の実行計画である「未来につなぐ下水道事業プラン(町田市下水道事業経営戦略)」において設定している経営指標に基づくモニタリングを行い、経営状況を適正に把握していきます。また、そのモニタリング結果を踏まえ、投資財政計画と事業実績に乖離が生じている場合は、本計画を見直すことで下水道事業の効率化と経営健全化に努めます。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	モニタリング評価分析及び計画の見直し	－	目標値	モニタリング 評価分析	モニタリング 評価分析	モニタリング 評価分析	モニタリング 評価分析 (必要に応じた 計画の見直し)	モニタリング 評価分析 (必要に応じた 計画の見直し)
			実績値	モニタリング 評価分析	モニタリング 評価分析	モニタリング 評価分析		
			達成度	○	○	○		
	備考							

基本方針	3 次世代につなぐ財政基盤を確立する			改革項目	3－1 持続可能な財政基盤づくりを推進する				
取組名	3－1－6	病院事業の経営改善の推進			所管課	市民病院経営企画室/市民病院総務課			
目的	・地域から必要とされる医療の安定的な供給								
事業概要	○中期経営計画に基づく経営改善の推進 ・「町田市民病院第4次中期経営計画(2022年度～2026年度)」に基づき、収益の増加、費用の削減を図り、経常収支の黒字化を目指します。 ・2024年から適用される医師の働き方改革に取り組みます。								
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
1	経常収支比率	98.3% (2019年度)	目標値	98%	99%	101%	101%	100%	
			実績値	101.5%	94%	90%			
			達成度	○	△	△			
	備考			※ 経常収支比率 病院の経営状況を表す指標の一つで、100%を超えれば黒字病院とされます。経常収支比率＝ (医業収益+医業外収益)÷(医業費用+医業外費用)×100					
2	5日以上有給 休暇取得率 (医師)	86.5% (2019年度)	目標値	97%	99%	100%	100%	100%	
			実績値	89.2%	86.5%	91.5%			
			達成度	△	△	△			
	備考								

基本方針	3 次世代につなぐ財政基盤を確立する			改革項目	3－1 持続可能な財政基盤づくりを推進する				
取組名	3－1－7	市庁舎の適切な維持管理と財源確保			所管課	市有財産活用課/財政課/企画政策課/経営改革室			
目的	・エネルギー使用量の削減と環境負荷の軽減 ・持続可能な財政基盤の確立								
取組内容	○市庁舎の適切な維持管理 ・広告掲載や市庁舎スペースの貸付など、市庁舎の有効活用を図ります。 ・ビル・エネルギー管理システム（BEMS）を使って得られたデータを分析し、活用することで最適な空調管理を行い、CO2排出量の削減を図ります。また、新技術や省エネ効率の高い機器などの導入を検討します。 ○効果的な財源確保 ・ふるさと納税及び企業版ふるさと納税制度のさらなる活用や、民間との協定による事業実施など、効果的な歳入確保と歳出削減に向けた取り組みを進めます。								
	指標	現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
1	市庁舎の有効活用累計件数	7件	目標値	14件以上 (7件以上/年)	21件以上 (7件以上/年)	28件以上 (7件以上/年)	35件以上 (7件以上/年)	42件以上 (7件以上/年)	
			実績値	14件 (7件/年)	21件 (7件/年)	28件 (7件/年)			
			達成度	○	○	○			
	備考								
2	市庁舎のCO2排出量	1,847t (2020年度)	目標値	1,829t	1,810t	1,792t	1,774t	1,756t	
			実績値	1,719t	239t	188t			
			達成度	○	○	○			
	備考								
3	使い途を特定した期間限定のふるさと納税の累計実施件数	5件 ※誤記のため修正しました	目標値	8件 (2件/年)	10件 (2件/年)	12件 (2件/年)	14件 (2件/年)	16件 (2件/年)	
			実績値	9件 (4件/年)	13件 (4件/年)	15件 (2件/年)			
			達成度	○	○	○			
	備考								

基本方針	3 次世代につなぐ財政基盤を確立する			改革項目	3－1 持続可能な財政基盤づくりを推進する			
取組名	3－1－8	新たな資金運用の推進			所管課	会計課		
目的	・中長期的な視点による安全かつ効率的な資金管理							
事業概要	○中長期的な資金運用手法の確立 ・債券等による中長期的な運用やトータルキャッシュマネジメントの視点を取り入れることで、安全性や流動性を確保したうえで、より効率的な運用手法を確立します。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	債券運用による運用益	－	目標値	28,628千円	45,806千円	53,091千円	53,091千円	53,091千円
			実績値	28,093千円	43,771千円	63,457千円		
			達成度	△	△	○		
	備考							

基本方針	3 次世代につなぐ財政基盤を確立する			改革項目	3－1 持続可能な財政基盤づくりを推進する			
取組名	3－1－9	道路アセットマネジメントの推進		所管課	道路政策課/道路維持課			
目的	・安全で安心して利用できる道路環境の保全 ・道路施設の効率的な維持管理							
事業概要	○管理計画に基づく道路資産管理の最適化 ・橋梁、ペDESTリアンデッキ、トンネル、横断歩道橋の点検・修繕において、新技術の活用を検討するとともに、損傷が軽微である早期段階で修繕を行う予防型の維持管理を計画的に行います。 ・街路樹の維持管理において、景観形成などの機能や地域特性を踏まえた優先順位付けにより、植替えや撤去などを計画的に行います。 ・街路灯柱等の維持管理において、更新時期に併せた集約化や既設電柱への架設化などを計画的に行います。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	橋梁の維持管理、 ペDESTリアン デッキの維持 管理	計画策定 (2008年度、 2019年度)	目標値	新技術の活用 検討 計画改定	予防型の維持 管理の実施	予防型の維持 管理の実施	予防型の維持 管理の実施	予防型の維持 管理の実施
			実績値	新技術の活用 検討 計画改定	予防型の維持 管理の実施	予防型の維持 管理の実施		
			達成度	○	○	○		
	備考							
2	トンネル・横断 歩道橋の維持 管理	－	目標値	新技術の活用 検討 計画策定	予防型の維持 管理の実施	予防型の維持 管理の実施	予防型の維持 管理の実施	予防型の維持 管理の実施
			実績値	新技術の活用 検討 計画策定	予防型の維持 管理の実施	予防型の維持 管理の実施		
			達成度	○	○	○		
	備考							
3	街路樹の維持 管理	－	目標値	調査・検討 植替え・撤去 の実施	計画策定 植替え・撤去 の実施	植替え・撤去 の実施	植替え・撤去 の実施	植替え・撤去 の実施
			実績値	調査・検討 計画策定 植替え・撤去 の実施	植替え・撤去 の実施	植替え・撤去 の実施		
			達成度	○	○	○		
	備考							
4	街路灯柱等の 維持管理	－	目標値	－	－	調査・検討	計画策定	集約化などの 実施
			実績値	－	－	調査・検討		
			達成度	－	－	○		
	備考							

基本方針	3 次世代につなぐ財政基盤を確立する			改革項目	3-2 市有財産を利活用する			
取組名	3-2-1	公共施設再編の推進			所管課	企画政策課/経営改革室		
目的	・市民ニーズに対応した公共サービスの維持向上 ・民間とのコラボレーションによる新たな価値創出と財政負担の軽減							
事業概要	○公共施設再編計画の推進 ・町田市公共施設等マネジメント委員会※において、公共施設再編に向けた取り組みの進捗管理を行い、短期再編プログラム※を着実に推進します。 ・2027～2036年度に実施する公共施設の再編内容を定める中期再編プログラムを策定します。 ○2つの保健施設の集約 ・健康福祉会館と保健所中町庁舎の集約を、民間とのコラボレーションにより実施します。 ○教育センターの複合化 ・教育センター、子ども発達センター、わくわくプラザ町田の複合化を、民間とのコラボレーションにより実施します。							
指標		現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	短期再編プログラムの取組達成率	23.7% (2020年度)	目標値	66%	66%	68%	68%	100%
			実績値	44%	51%	54%		
			達成度	△	△	△		
	備考							
2	中期再編プログラムの策定	-	目標値	-	-	-	検討	策定
			実績値	-	-	-		
			達成度	-	-	-		
	備考							
3	2つの保健施設の集約	検討	目標値	基本計画検討	基本計画検討	基本計画策定 公募準備	公募準備	公募実施
			実績値	基本計画検討	基本計画検討	現状と課題の整理		
			達成度	○	○	△		
	備考							
4	教育センターの複合化	検討	目標値	基本計画策定	公募準備	公募実施	設計・建設工事	設計・建設工事
			実績値	基本計画策定	公募準備	公募実施・取りやめ		
			達成度	○	○	△		
	備考							

基本方針	3 次世代につなぐ財政基盤を確立する			改革項目	3－2 市有財産を利活用する			
取組名	3－2－2	公共施設の管理運営手法の最適化			所管課	営繕課/市有財産活用課		
目的	・公共施設の適正かつ効率的・効果的な維持管理の推進							
事業概要	○公共施設の中期修繕計画の改定 ・公共施設の予防保全の工程を示した中期修繕計画を改定し、維持管理費用の縮減を図ります。 ○新たな管理運営手法の導入 ・公共施設の情報管理や営繕業務において、デジタルを活用した効率的・効果的な管理運営手法等を導入します。							
	指標	現状値		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	中期修繕計画の改定	－	目標値	調査・検討	改定	－	－	－
			実績値	調査・検討	改定	－	－	－
			達成度	○	○	－	－	－
	備考							
2	施設管理運営手法の導入	－	目標値	調査	検討	施設情報の統合準備	施設情報の統合	導入
			実績値	調査	検討	施設情報の統合準備		
			達成度	○	○	○		
	備考							
3	三次元化した建物情報モデル(BIM)の作成システムの導入	－	目標値	調査・検討	試験的導入	仮運用	全面導入の検討	全面導入の可否の決定
			実績値	調査・検討	試験的導入	仮運用		
			達成度	○	○	○		
	備考							

参考資料3 経営改革プランの達成率一覧

※各年度の「達成率」及び、政策、施策ごとの「達成率」は、参考資料4「経営改革プランの取り組み結果一覧」の「達成率（取り組み別）」の平均から算出しています。

項目名		2023年度達成率	2024年度達成率
経営改革プラン全体		97%	96%
基本方針1 共創で新たな価値を創造する		99%	99%
	改革項目1-1 情報の双方向性を高める	99%	99%
	改革項目1-2 行政サービスのデジタル化を推進する	97%	97%
	改革項目1-3 多様な主体との協力体制を強化する	100%	100%
基本方針2 対話を通して市役所能力を高める		97%	97%
	改革項目2-1 強くしなやかな組織を構築する	97%	97%
	改革項目2-2 未来を創る職員を育てる	99%	99%
基本方針3 次世代につなぐ財政基盤を確立する		92%	92%
	改革項目3-1 持続可能な財政基盤づくりを推進する	99%	95%
	改革項目3-2 市有財産を利活用する	80%	80%

参考資料4 経営改革プランの取り組み結果一覧

<「取り組み結果」と「達成率」の考え方>

- ・「取り組み結果」では、計画当初に立てたすべての指標について、実績値に応じて「○・△」の2段階で取り組み結果を評価しています。
○…目標値を上回った場合（目標値に対して100％以上の実績値の場合） △…目標値を下回った場合（目標値の100％未満の実績値の場合）
- ・「達成率（指標別、取り組み別）」は、目標値に対する実績値の割合を示しています。なお、100％を超える場合にも100％を上限としています。
- ・各年度時点の「達成率」は、当該年度の全重点事業の「達成率（取り組み別）」の平均から算出しています。
- ・各年度時点で取り組み未実施及び、実施しているが目標指標を設定していないもの（現状維持で現状値から変化のないものを含む）については、「－（ハイフン）」とし、達成率の算出から除いています。
- ・新規事業開始等の定性指標に関するもののうち、目標として設定した文字通りの状況に到達していない場合には、「取り組み結果」の割合を50％としています。

基本方針	改革項目		取組名	指標	現状値 (計画初期値)	2023年度 達成率 97%					2024年度 達成率 96%				
	No.	項目				目標値	実績値	達成率 (指標別)	取り組み 結果	達成率 (取り組み別)	目標値	実績値	達成率 (指標別)	取り組み 結果	達成率 (取り組み別)
基本方針 1 共創で新たな価値を創造する	1-1	情報の双方向性を高める	顧客に合わせた情報発信の拡充	広報活動の市民満足度	66.2%	-	-	-	-	100%	-	-	-	-	100%
				情報発信する場の提供累計回数	-	12回	26回	100%	○		24回 (12回/年)	59回 (33回/年)	100%	○	
			緊急時における情報発信の強化	新たな情報提供体制の構築・運用開始	-	運用開始	運用開始	100%	○	100%	運用・見直し	運用・見直し	100%	○	-
				広報紙の緊急臨時号発行体制の構築	-	運用開始	運用	100%	○		-	-	-	-	
			市民の声を市政に反映する仕組みの拡充	大学と連携した応対記録の分析累計回数	-	2回	2回	100%	○	100%	3回 (1回/年)	3回 (1回/年)	100%	○	100%
				無作為抽出アンケートの累計調査回数	-	4回	4回	100%	○		6回 (2回/年)	6回 (2回/年)	100%	○	
				デジタルを活用した新たな仕組みの導入	-	市民の声の活用方策の検討	市民の声の活用方策の検討	100%	○		新たな仕組みの導入準備	新たな仕組みの導入準備	100%	○	
				Webアンケートの累計調査回数	-	24回	45回	100%	○		36回 (12回/年)	66回 (21回/年)	100%	○	
			オープンデータの充実	公開データファイル累計件数	737件	837件	1,050件	100%	○	100%	887件 (50件/年)	1,235件	100%	○	99.6%
				ダウンロード件数	102,618件	2022年度より増	1,098,997件	100%	○		2023年度より増	1,090,487件	99%	△	
	1-2	行政サービスのデジタル化を推進する	マイナンバーカードの普及及び利用促進	マイナンバーカード交付率	31.1%	100%	79%	79%	△	95%	- (100%)	79%	79%	△	93%
				出前申請受付サービスのイベント実施累計回数	1回	49回	178回	100%	○		-	-	-	-	
				コンビニで発行した証明書の割合(住民票、印鑑登録証明書、戸籍)	14.4%	26%	43.6%	100%	○		28%	47.0%	100%	○	
				コンビニで発行した証明書の割合(課税・非課税証明書)	8.7%	19%	33.4%	100%	○		21%	36.0%	100%	○	
			デジタルトランスフォーメーション(D X)の推進	"e-まち"実現プロジェクトの取組累計件数	33件	43件	107件	100%	○	100%	48件 (5件/年)	146件	100%	○	100%
				オンライン化した手続累計件数	188件	238件	431件	100%	○		263件 (25件/年)	553件	100%	○	
				情報セキュリティ外部監査の実施率	100%	100%	100%	100%	○		100%	100%	100%	○	
	1-3	多様な主体との協力体制を強化する	共創による地域社会づくりの推進	多様な主体の連携による地域課題解決のための取り組み数	-	60事業	84事業	100%	○	100%	65事業	77事業	100%	○	100%
				地域活動にかかわった関係者の数	1,716人／年	1,800人／年	6,217人／年	100%	○		1,850人／年	4,507人／年	100%	○	
				共創・協働を意識している職員数	63%	-	-	-	-		-	-	-	-	
			外部意見の活用	委員会からの助言・提言の市政への反映累計数	-	10件	14件	100%	○	100%	15件 (5件/年)	22件	100%	○	100%
				包括外部監査実施方法の見直し	-	検証	新たな実施方法の開始	100%	○		検討・決定	検討・決定	100%	○	
				包括外部監査の措置率(過去5ヵ年の措置率)	90%	90%	99.7%	100%	○		90%	99.4%	100%	○	
			市政モニタリングの実施	市民参加型事業評価の開催	開催準備	開催準備	開催準備	100%	○	100%	開催	開催	100%	○	100%
				市民参加型事業評価の改善プログラム達成率	-	2022年度開催分70%	2022年度開催分74%	100%	○		2022年度開催分90%	2022年度開催分91.3%	100%	○	
				CFCI新規実施累計事業数(既存事業の改善含む)	-	4事業	5事業	100%	○		6事業 (2事業/年)	6事業 (1事業/年)	100%	○	
			非常時に備えた組織体制の構築	防災対策連絡調整会議の開催累計数	-	2回	2回	100%	○	100%	3回 (1回/年)	3回	100%	○	100%
				地域防災計画及び事業継続計画修正	事業継続計画(地震編)修正	計画の修正・検討	計画の修正・検討	100%	○		計画の修正・検討	計画の修正・検討	100%	○	
				町田市新型インフルエンザ等対策行動計画の修正	-	計画の修正・検討	計画の修正・検討	100%	○		計画の修正・検討	計画の修正・検討	100%	○	

基本方針	改革項目		取組名	指標	現状値 (計画初期値)	2023年度					2024年度				
						目標値	実績値	達成率 (指標別)	取り組み 結果	達成率 (取り組み別)	目標値	実績値	達成率 (指標別)	取り組み 結果	達成率 (取り組み別)
No.	No.	項目													
基本方針 2	2-1	強くしなやかな組織を構築する	事務事業の見直し	業務改善プロジェクトの実施累計業務数	-	5業務	11業務	100%	○	100%	8業務 (3業務/年)	22業務 (8業務/年)	100%	○	100%
				デジタル技術を活用した改善業務累計数	-	70業務	309業務	100%	○		105業務 (35業務/年)	473業務 (164業務/年)	100%	○	
			職員定数の適正化と事務決裁規程の見直し	職員定数	2,233人	2,186人	2,200人	99%	△	100%	2,172人	2,191人	99%	△	99.6%
				事務決裁規程の見直し	-	庁内協議、例規の整備	庁内協議、例規の整備	100%	○		実施	実施	100%	○	
			非常時に備えた組織体制の構築(再掲)	防災対策連絡調整会議の開催累計数	-	2回	2回	100%	○	100%	3回	3回	100%	○	100%
				地域防災計画及び事業継続計画修正	事業継続計画(地震編)修正(2021年度)	計画の修正・検討	計画の修正・検討	100%	○		計画の修正・検討	計画の修正・検討	100%	○	
				町田市新型インフルエンザ等対策行動計画の修正	-	計画の修正・検討	計画の修正・検討	100%	○		計画の修正・検討	計画の修正・検討	100%	○	
			市税業務改革	税務 3 課における業務改善の取組事例累計数	-	2件	5件	100%	○	100%	2件 (0件/年)	7件 (2件/年)	100%	○	75%
				包括外部委託の活用	実施準備(市民税課)実施	実施(市民税課)実施検討	実施(市民税課)実施検討	100%	○		実施準備(資産税課)	実施検討(資産税課)	50%	△	
			社会保険料に係る収納事務の民間委託及び統合	民間委託及び事務の統合	-	一部実施	契約 統合準備	100%	○	100%	統合完了・委託実施	統合完了・委託実施	100%	○	100%
			学校給食業務の運営体制の最適化	給食調理業務の委託を新たに実施する小学校の累計数	23校	29校	29校	100%	○	100%	32校	31校	97%	△	97%
			学校用務業務の運営体制の最適化	修繕等における用務職が対応する割合	-	79%	79.5%	100%	○	100%	81%	90.8%	100%	○	100%
			学校事務業務の運営体制の最適化	学校事務職員における正規・再任用の職員数	25人	20人	19人	100%	○	100%	20人	18人	100%	○	100%
			小中学校における学校経営の支援	学校徴収金の公会計化	-	実施	実施	100%	○	100%	-	-	-	-	100%
				中学校給食費の公会計化	-	準備	準備	100%	○		実施	実施	100%	○	
				副校長補佐を配置する学校の累計数	17校	33校	33校	100%	○		41校 (8校/年)	41校 (8校/年)	100%	○	
			市民センター等における最適なサービスの構築	証明書発行に特化した窓口機能の縮小・廃止	-	検討	検討	100%	○	50%	検討	- ※2023年度をもって、検討を終了したため	-	-	-
				民間協働により管理運営する施設累計数	-	4施設	0施設	0%	△		6施設	- ※2023年度をもって、指定管理者制度の導入を見合わせたため	-	-	
	2-2	未来を創る職員を育てる	職員が能力を発揮できる職場環境づくり	メンタル疾患による30日以上病休者割合 (2020年度26市平均値2.5%)	1.7%	26市 平均値以下	3.7% (2023年度26市平均値3.4%)	92%	△	96%	26市 平均値以下	3.8% (2024年度26市平均値3.7%)	97%	△	99%
				年次有給休暇の平均取得日数 (2020年度26市平均値13.1日)	15.8日	26市 平均値以上	17.7日 (2022年度26市平均値14.3日)	100%	○		26市 平均値以上	17.6日 (2023年度26市平均値15.2日)	100%	○	
				係長職に占める女性職員の割合	33%	35%	32.3%	92%	△		35%	34.0%	97%	△	
				障がいのある職員の採用後 1 年以内の離職者数	0人	0人	0人	100%	○		0人	0人	100%	○	
			人材の確保と育成の推進	採用試験の見直し	試験内容等 の見直し	検証	検証	100%	○	100%	試験内容等 の見直し	試験内容等 の見直し	100%	○	100%
				「町田市職員人材育成基本方針」に掲げる“めざす職員像”の認知度	90.4%	第4期方針について2021年度調査結果以上	92.1%	100%	○		-	-	-	-	
				「町田市職員人材育成基本方針(第5期)」の策定	-	職員意識調査の実施及び結果分析	職員意識調査の実施及び結果分析	100%	○		策定	策定	100%	○	
				「経営品質向上活動」を意識している職員の割合	74.7%	77%	90.4%	100%	○		78%	92.9%	100%	○	

基本方針	改革項目		取組名	指標	現状値 (計画初期値)	2023年度					2024年度				
						目標値	実績値	達成率 (指標別)	取り組み 結果	達成率 (取り組み別)	目標値	実績値	達成率 (指標別)	取り組み 結果	達成率 (取り組み別)
No.	No.	項目													
基本方針 3	3-1	持続可能な財政基盤づくりを推進する	行政評価シートのさらなる活用	費用対効果が改善した事業の割合	26.6%	41%	51.9%	100%	○	100%	44%	37.9%	86%	△	93%
				課題解決・目標達成に向けた今後の取り組みの実施割合	-	90%	98.2%	100%	○		90%	98.2%	100%	○	
			市債発行額と財政調整基金残高の適正管理	実質公債費比率	0.5%	1.3%	0.6%	100%	○	100%	1.5%	0.5%	100%	○	100%
				市債年度末現在高	875億円	963億円	869億円	100%	○		1,037億円	865億円	100%	○	
				財政調整基金年度末残高	90億円	80億円	103億円	100%	○		80億円	113億円	100%	○	
			受益者負担の適正化	基本方針の検証	基本方針改定	検証	検証	100%	○	100%	検証を踏まえた見直し	検証	50%	△	75%
				受益者負担の見直し	実施公表	実施公表	実施公表	100%	○		実施公表	実施公表	100%	○	
			国民健康保険事業財政の健全化	赤字額（新型コロナウイルス感染症影響分を除く）	22.2億円	19.1億円	20.0億円	96%	△	96%	17.6億円	18.5億円	95%	△	95%
			下水道経営基盤の強化	モニタリング評価分析及び計画の見直し	-	モニタリング評価分析	モニタリング評価分析	100%	○	100%	モニタリング評価分析	モニタリング評価分析	100%	○	100%
			病院事業の経営改善の推進	経常収支比率	98.3%	99%	94%	95%	△	91%	101%	90%	89%	△	90%
				5日以上有給休暇取得率(医師)	86.5%	99%	86.5%	87%	△		100%	91.5%	92%	△	
			市庁舎の適切な維持管理と財源確保	市庁舎の有効活用累計件数	7件	21件以上	21件以上	100%	○	100%	28件以上(7件以上/年)	28件(7件/年)	100%	○	100%
				市庁舎のCO2排出量	1,847 t	1,810 t	239 t	100%	○		1,792 t	188 t	100%	○	
				使い途を特定した期間限定のふるさと納税の累計実施件数	5件	10件	13件	100%	○		12件(2件/年)	15件(2件/年)	100%	○	
			新たな資金運用の推進	債券運用による運用益	-	45,806千円	43,771千円	96%	△	96%	53,091千円	63,457千円	100%	○	100%
			道路アセットマネジメントの推進	橋梁の維持管理、ペDESTリアンデッキの維持管理	計画策定	予防型の維持管理の実施	予防型の維持管理の実施	100%	○	100%	予防型の維持管理の実施	予防型の維持管理の実施	100%	○	100%
				トンネル・横断歩道橋の維持管理	-	予防型の維持管理の実施	予防型の維持管理の実施	100%	○		予防型の維持管理の実施	予防型の維持管理の実施	100%	○	
				街路樹の維持管理	-	計画策定 植替え・撤去の実施	植替え・撤去の実施	100%	○		植替え・撤去の実施	植替え・撤去の実施	100%	○	
				街路灯柱等の維持管理	-	-	-	-	-		調査・検討	調査・検討	100%	○	
	3-2	市有財産を利活用する	公共施設再編の推進	短期再編プログラムの取組達成率	23.7%	66%	51%	77%	△	92%	68%	54%	80%	△	60%
				中期再編プログラムの策定	-	-	-	-	-		-	-	-	-	
				2つの保健施設の集約	検討	基本計画検討	基本計画検討	100%	○		基本計画策定 公募準備	現状と課題の整理	50%	△	
				教育センターの複合化	検討	公募準備	公募準備	100%	○		公募実施	公募実施・取りやめ	50%	△	
			公共施設の管理運営手法の最適化	中期修繕計画の改定	-	改定	改定	100%	○	100%	-	-	-	-	100%
				施設管理運営手法の導入	-	検討	検討	100%	○		施設情報の統合準備	施設情報の統合準備	100%	○	
				三次元化した建物情報モデル（BIM）の作成システムの導入	-	試験的導入	試験的導入	100%	○		仮運用	仮運用	100%	○	